

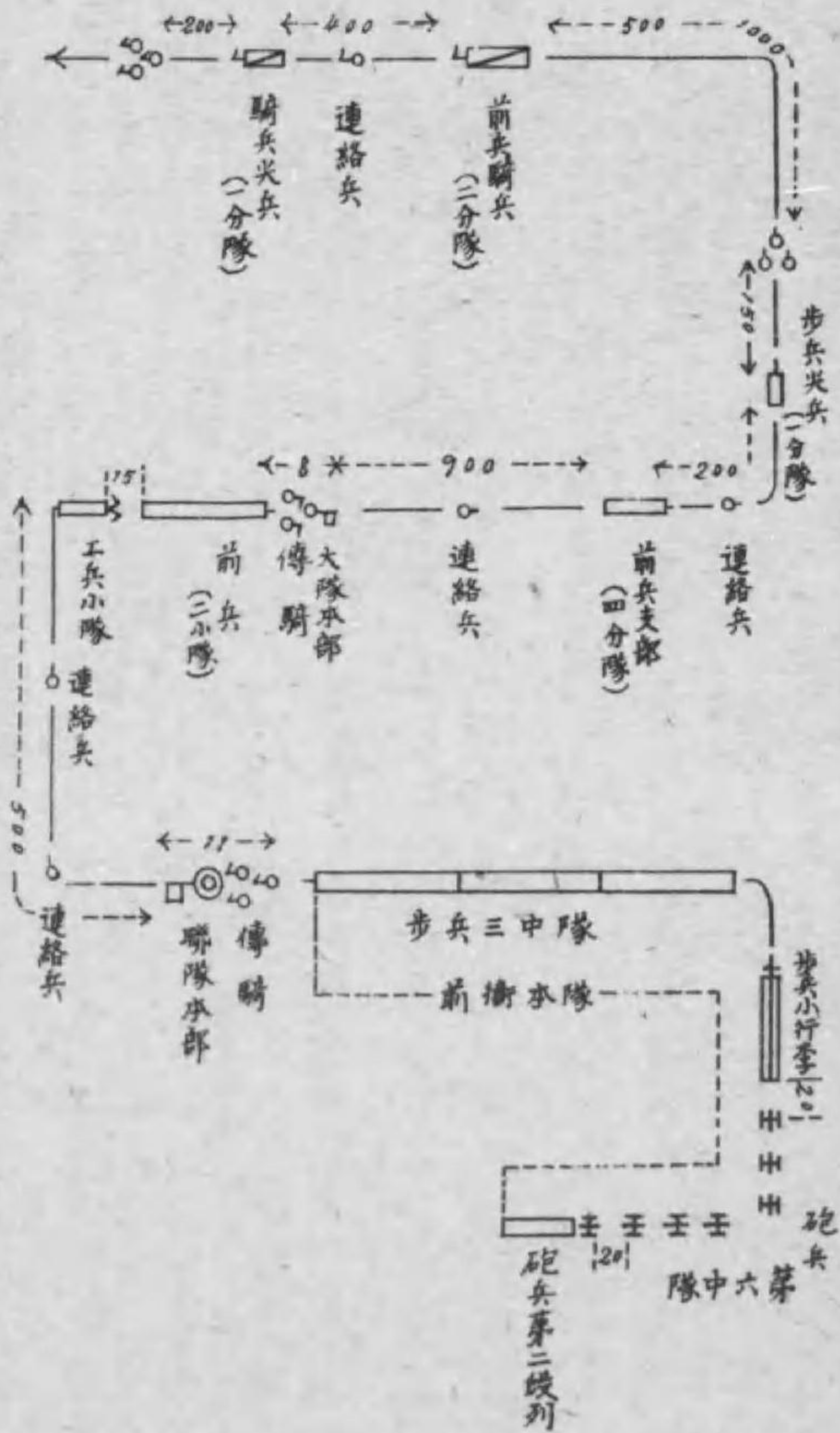
次キニ研究スヘキハ本日、前衛ハ前哨ヲ配布シ、明日ハ此、前哨ヲ撤シ、行軍ニ移ルナリ、而シテ其前哨、收集ノ方法ハ既ニ第四篇前哨ノ條其六ニ於テ説叙セシ如ク二様アリ、甲ハ敵ニ對スル願慮多キ場合ニ關スルモノニシテ、即ハチ行軍縱隊ガ前哨線ヲ進出スルニ至リ、始メテ前哨ヲ集收スルモノ、乙ハ敵ニ對スル願慮少ナキ場合ニ用ユルモノニシテ、即ハチ斥候ノ掩護ニ由テ適當ノ時機ニ前哨ヲ集收スルモノナリ、此二様ノ内何レヲ九月四日ノ場合ニ於テ採用スヘキカ、無論乙ノ方法ヲ用ユヘキモノニシテ、此乙ノ方法ト雖トモ、尤モ簡單ナル區署ニテ足レリ、何トナレハ前方ニハ獨立騎兵アリ、厚木ニハ橋架守備兵アリ、爲メニ敵ニ對スル願慮ハ殆ンド無シト云フモ可ナリ、故ニ河岸ニ若干ノ監視斥候ヲ留ムル位ヒノ掩護ニ由テ前哨ヲ集收シテ、差支ヘナシ、即チ前哨撤去時間ニ至レハ、小哨若クハ前哨中隊ヨリ左ノ二斥候ヲ出ス

甲、上流ノ方ヨリ河岸ニ沿フテ下流ノ方ニ巡行シテ歸ルモノ
 乙、下流ノ方ヨリ河岸ニ沿フテ上流ノ方ニ巡行シテ歸ルモノ
 右ノ如クシテ、歩哨ハ小哨ニ集マリ、小哨長ハ人員ヲ檢查シ、部下ヲ引卒シテ、前哨中隊ニ歸ル、而シテ前哨中隊長ハ中隊ヲ集收、引率シ、集合所ニ至ル

問 九月四日ニ於ケル行軍ニ於テ前衛ハ如何ナル隊形、序列ヲ取ルベキカ

答 左圖ノ如シ

騎兵尖兵ノ先頭ヨリ最後尾ニ至ルマテ前衛ノ全長徑約三千七百米
 歩兵尖兵ノ先頭ヨリ最後尾ニ至ルマテ前衛ノ全長徑約二千七百米



普通ノ形勢
ニ於テ前衛
ノ行軍隊形
ノ序列ニ關ス
ル説明注意

此行軍畧圖ハ尋常ノ形勢ニ於ケル隊形序列ノ一例トシテ示スモノナ
リ蓋シ八月四日ニ於テ前衛ノ任務並ニ其進路ノ地形上特別ノ隊形序
列ヲ取ルノ必要ナケレハナリ今左ニ此隊形序列ニ關シ若干ノ説明ヲ
加ヘントス

○騎兵ハ少數ニシテ大ナル搜索面ヲ取ル能ハス唯ダ進路上左右若干
ノ地區ヲ搜索シ得ルニ過キス故ニ之レヲ前兵長ノ指揮ニ屬シ前兵
騎兵トナシタリ故ニ此騎兵ガ尖兵勤務ヲナスヲ以テ此後方ニ歩兵
尖兵ヲ出サ、ルモ可ナリ又タ歩兵尖兵ヲ更ニ出スモ差支ヘナシ

○工兵ハ成ル可ク前方ニ在ツテ若シ工事ヲ要スル所ハ速ニ之レニ着
手シ得ルヲ要ス殊ニ九月四日ニ於ケル行軍ハ前方ニ善波峠ノ嶮モ
アリ故ニ工兵ハ前兵ニ付セリ

○前兵ハ歩騎工各兵種ヨリナレリ且ツ前兵ハ敵ニ衝突スルニ當リ第

一抵抗部隊ナリ故ニ其任務モ難シ今ヤ前衛司令官ハ歩兵第二聯隊長ナル故歩兵第一大隊長ガ前衛本隊ニ居ラサルモ差支ヘナシ由テ第一大隊長ヲ前兵長トナセリ是レ指揮統御上便ナリ

○砲兵ハ前衛本隊ノ最後尾ニ位置セシメタリ抑モ砲兵ハ戦闘開始ニ當リ必須ノ兵種タルヲ以テ勉メテ敵ニ接近セル方位ニアリテ行進セシムルヲ可トスレモ歩兵一大隊許リノ前衛ニ在ツテハ縦隊ノ後尾ニ置クモ妨ダナシ蓋シ歩兵一大隊ノ行軍長徑ハ數百米突ニ過ギズシテ戦闘開始ノ際砲兵ガ前方ニ進出スルニ費ス時間ハ僅小ナレバナリ若シ砲兵ヲ少シタリトモ前方ニ置カンガ爲メ歩兵大隊ノ中隊間ニ搜入スル如キハ進出ノ時間ニハ何程ノ差モナク而シテ反ツテ歩兵ノ團結ヲ破リ其行進ノ妨害ヲナスノ害ハ著シキモノトス

問 砲兵隊長ハ何レニ位置スルヤ

答 前衛司令官ト同行ス

砲兵隊長ハ指揮官ニ随伴同行スルノ必要第四篇行軍序列ノ條參照

抑モ砲兵隊長ガ指揮官(前衛砲兵ニ在ツテハ前衛司令官ニ本隊ノ砲兵ニ在ツテハ縦隊指揮官ニ)ニ随伴同行スルハ砲兵操典ニ於テモ砲兵隊長ハ開戦ニ至ル迄テ指揮官ニ随伴シ云々ト示セル如ク甚ダ必要ナルヲナリ精細ハ第四篇行軍序列ノ條ヲ參照セバ明カナリ

問 開戦ニ至ラバ砲兵隊長ハ如何ニスルヤ

答 開戦ニ至レバ固ヨリ砲兵隊長ハ部下軍隊ノ指揮ヲ掌ル爲メ其部下軍隊ノ所在地附近ニアリ而シテ指揮官トハ常ニ連絡ヲ確實ニ保持ス

作戦九月四日

九月四日午
前七時ニ於
ケル情況

●九月四日午前七時ニ於ケル情況

- 九月四日旅團本隊ノ前衛ハ豫定ノ如ク午前七時運動ヲ起セリ
- 左側支隊ハ幸ヒニ斥候並ニ傳令卒丈ケノ背囊ヲ積載スルニ足ルヘキ若干ノ人馬車輛ヲ徵發シ得テ之レニ背囊ヲ積載シ大行李ト共ニ行進セシメタリ
- 今早朝來獨立騎兵ノ運動ニ關スル情況左ノ如シ
- 一、會屋方向ニ差遣セラレタル騎兵部隊ハ善波村附近ニ於テ敵ノ騎兵(少クモ一中隊以上)ノ爲メニ擊退セラレ獨立騎兵本隊ハ白根村西端ニ於テ之レヲ收容シ同地附近ニ於テ此敵ト相對峙セリ
 - 二、今日拂曉北金目ヨリ澁澤方向ニ差遣シタル斥候ノ報告ニヨレバ

- 敵ノ歩兵約一大隊ハ朝來澁澤方向ヨリ前進シ午前七時ニハ其ノ先頭ヲ以テ善波峠ニ達スルナラン
- 三、土民ノ情報ニヨレハ諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ今早朝松田總領ヨリ東ニ向ツテ出發シ其大砲ハ十二門許アリ
 - 又關本附近ニハ昨夜遅ク千人許ノ敵兵到着セリト云フ
 - 四、左側支隊長ノ指揮ニ屬スル爲メ平塚附近ニ殘留シアル騎兵小隊ヨリノ報告ニヨレハ今朝來西小磯西北方ノ高地ハ敵ニ由テ占領セラレタリ其兵力ハ尠シモ一中隊ヲ上ラス但シ其後方ニハ數多ノ後續部隊アルモノ、如シ

問 右ノ情況ニ於テ獨立騎兵隊ハ何ヲナスヤ

答 旅團訓令ノ如ク旅團ノ馬入川渡河ヲ敵ニ對シテ掩蔽スル爲メ成

ルベク大山街道ヲ離ル、コトナク敵ノ前進ヲ拒支ス而シ右ノ情
況ハ大至急旅團長ニ報告ヲナス

問 其報告文ハ如何
答 左ノ如シ

獨立騎兵報告 九月四日午前七時
白根村ニ於テ

九月四日午
前七時ニ於
ケル騎兵隊
長ノ報告
(發送途中前
衛司令官ニ
披見セシム
ルヲ要スル
モノ)

- 一、敵ノ騎兵(少クモ一中隊以上)ハ善波村附近ニ於テ我騎兵部隊ヲ擊退シテ前進シ獨立騎兵ハ目下白根村附近ニ於テ此敵ト相對セリ
- 二、斥候ノ報告ニヨレハ敵ノ歩兵約一大隊ハ朝來澁澤方向ヨリ前進シ午前七時其ノ先頭ヲ以テ善波峠ニ達スルナラント云フ
- 三、土人ノ言ニヨレハ諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ今朝松田總領ヨリ東ニ向テ出發シ其大砲ハ十二門ヲ有セリト云フ

第三項ハ傳
聞ニ由ルコ
トヲ區別シ
テ記シタル
ナリ

第五傾ハ自
己ノ想像ニ
係ルコトヲ
區別シテ記
シタルナリ
第六項ハ隊
長ガ將來爲
サントスル
處置ヲ示ス
モノナリ

- 又關本附近ニハ昨夜遅ク敵兵約一大隊到着セルモノ、如シ
- 四、在平塚附近ノ騎兵小隊ヨリ報告スル所ニヨレハ西小磯西北方ノ高地ハ朝來多クモ一中隊ヲ上ラザル敵ノ歩兵ニ由テ占領セラレ其後方ニハ數多ノ後續部隊アルモノ、如シ
- 右在平塚ノ騎兵小隊ハ左側支隊長ニ屬セシムル筈ナリ
- 五、其他諸種ノ徵候ニ由テ見レハ敵ハ昨日増加兵ヲ得本日ハ馬入川ノ線ヲ占領スルノ企圖ヲ有スル者ノ如ク察セラル
- 六、小官ハ現在ノ地ヲ守備シ前衛歩兵ノ來着ヲ待タントス
- 若シ已ムヲ得ザレバ大島村方向ニ迂回シツ、退却スル考ヘナリ

騎兵少佐某

右ノ報告ハ昨日停止シアリタル敵狀ガ一變シタルヲ報知スル
モノナレバ尤モ迅速ヲ要ス且ツ此クノ如キ報告ハ途中前衛司

令官ノ披見ニ供スルコト必要ナリ故ニ封筒ハ封緘セズ開封ノ
儘至急ノ速度(十十十)ヲ以テ傳送ス

厚木渡河法設備ニ關スル情況

厚木渡河法
設備ニ關ス
ル情況

架橋隊長ハ九月四日朝來厚木橋梁ニ着シ渡河ノ方法ニ就テ偵察ヲナ
セシガ其結果左ノ如シ

- 一、在來ノ橋梁ヲ野砲通過ニ適スル如ク修理スルニハ午前八時三十
分マデニ完成シ難シ
- 二、架橋縦列到着ヲ待ツテ新ニ軍橋ヲ架スルモ午前八時三十分迄ニ
完成シ難シ
- 三、地方材料毫モナシ

渡河法ノ一
例

四、野砲ヲ除クノ外他兵ノ陸續通過ニ妨ケナキ如ク在來ノ橋梁ヲ修
理スルニハ午前八時三十分迄ニ充分完成ノ見込アリ

五、水流ノ幅員ハ約百米突水深一米突以上ニシテ流速ハ一米弱ナリ

問 右ノ情況ニ於テ架橋隊長ハ如何ナル渡河法ヲ取
ルヤ

答 野砲ヲ除ク諸隊ハ在來ノ橋梁ヲ修理シテ通過セシメ野砲ノミハ
門橋ヲ構成シテ漕渡ヲナス而シテ此意見ハ直チニ旅團長ニ告ス

問 野砲隊ヲ漕渡スルニハ幾許ノ時間ヲ要スルヤ
答 其計算左ノ如シ

▲二舟ヨリナル一門橋ノ積載量

野砲隊ヲ門
橋ニ由テ漕
渡セシムル
時間

門橋一付
砲前車共(或ハ彈藥車前後車共、或ハ豫備品車)
人員
六
門橋一付
人員
四
馬
四

▲一門橋一回ノ漕渡時間

流速一米突弱、河幅百米ノ者ニ對スル平均往復(乘卸共)一回ノ時間ハ人員ノミナレバ約十分馬匹并ニ車輛ハ十五分トス

▲右ノ基準數ニ由テ計算シタル結果

●人馬ヲ除キ材料ノミナレバ(但シ材料、乘卸ニ必要ナル)約四時間
野砲全中隊(人馬材料共但シ)約十二時間

野砲中隊大行李

約二時間

架橋隊長ハ右計算ノ基準ニ由テ一時間内ニ野砲ヲ渡河セシメン爲メニハ門橋四個ヲ構成スルヲ要スルコトヲ決セリ蓋シ人馬ハ從來ノ橋梁ニ由テ通過シ唯ダ材料ノミ門橋ニ由テ渡河セシムレバ足レルヲ以テナリ

●九月四日午前八時二十分ニ於ケル情況

○午前八時二十分前衛司令官ハ河原口ニ於テ前衛本隊ノ先頭ニアリテ午前七時發ノ獨立騎兵隊長ノ報告ヲ承知ス此時前兵ハ既ニ厚木

九月四日午
前八時二十
分ニ於ケル
情況

橋梁ヲ通過シツ、アリ

○馬入川ハ現在ニ於テ社家岡田ノ渡場丈ケハ辛フジテ渡渉シ得ルモ其水深殆ント歩兵ノ腹部ニ及ブ

○午前八時二十分左側支隊ハ其先頭ヲ以テ馬入村西端ニ達ス此時在平塚ハ騎兵小隊ヨリ左ノ報告ニ接ス

一、大磯附近ニアリシ敵ノ騎兵ハ南原方向ニ運動シ大磯附近ニハ若干ノ監視騎兵ヲシキ者ヲ見ルノミ

二、小官ハ一部ヲ平塚附近ニ留メ目下公所村方向ヲ搜索中ナリ

注 午前七時ニ於ケル情況ニ於テ示セル西小磯西北方高地附近ニ於ケル敵狀ハ此以前ニ於テ左側支隊長ハ既ニ在平塚騎兵隊ヨリ報告ヲ受ケタルモノトス

第十一問

九月四日午前八時二十分ノ情況ニ於テ研究スルキ

事項

九月四日午前八時二十分ノ情況ニ於テハ左ノ事項ヲ研究スルヲ要ス

其一、午前八時二十分ニ於ケル前衛司令官ノ決心並ニ處置

其二、午前八時二十分ニハ本隊ノ先頭何レノ地點ニ達シアルヤ旅團長ハ何時ニ騎兵隊長ノ報告ヲ受領スルヤ

其三、旅團長ガ騎兵隊長ノ報告ニ接シタル時如何ナル決心並ニ處置ヲナスヤ

其四、午前八時二十分ニ於ケル左側支隊長ノ情況判斷
今之レヲ逐次左ニ述ベン

九月四日午前八時二十分ノ情況ニ於テ研究スルキ事項

前衛カ本隊ノ開進ヲ掩護スル爲メ敵ニ先ヅテ要地ヲ占ムル場合
第四篇行軍搜索警戒ノ條其三參照

●其一ノ項ニ就キ〔午前八時二十分ニ於ケル前衛司令官ノ決心並ニ處置〕前衛ノ任務トシテハ本隊ノ開進ヲ掩護シ或ハ敵ニ先ジテ緊要ノ地點ヲ占領シ又弱勢ナル敵ナレハ猶豫ナク之レヲ攻撃シ本隊ノ行進ヲ遲滯セシメザル如クスルコト緊要ナリ
午前八時二十分ニ於ケル前衛司令官ノ決心ハ此點ニ就テ考慮セハ直チニ答解セラルベシ

決心

前衛ハ獨立騎兵ヲ支援シ馬入川右岸ニ陣地ヲ占メ本隊ノ渡河開進ヲ掩護セントス

理由

午前七時善波峠ニ達スベキ敵ハ我前衛ト同等若クハ弱勢ナル如シ而シテ午前八時二十分ニハ故障ナケレバ既ニ其先頭ヲ以テ白根村附近

ニ達シ我騎兵ハ既ニ壓迫ヲ受ケツ、アラシク或ハ又此敵ハ後續隊ノ善波峠進出ヲ掩護スル爲メ一時神戸村附近ニ停止シアルヤモ知レス是レ實際アリ得ベキコトナレバナリ何レニセヨ前衛ハ速ニ獨立騎兵ヲ支援シ敵狀ヲ確ムルコト緊要ナリ
今朝松田總領ヲ出發セリト云フ敵ハ土人ノ言ニシテ確固タラザレトモ昨日來此附近ニアリシ者ガ前進ヲ始メタルモノニシテ午前七時善波峠ニ達スベキ一大隊ハ此前衛ナルベシト察セラル即ハチ此前衛ノ兵力并ニ昨日來ノ情報ニ由テ察スルモ我本隊ヨリ著シク優勢ナル者ニアラザルベシ殊ニ土人ガ云フ所ノ砲數ヲ真ナルモノトセハ益然リ又昨夜遅ク關本附近ニ到着セリト云フ所ノ敵ノ増加ヲ既ニ得タルモノトスルモ未ダ恐ルニ足ラザル可ク本隊ハ無論前決心ノ如ク此敵ヲ攻撃スベク然ラバ前衛ハ少クモ石田村附近ヲ占領シテ本隊ノ開進ヲ

掩護スルカ或ハ果シテ判断ノ如ク敵ノ先頭部隊ガ劣勢ナリシ時ニハ前衛ハ猛烈ニ之レヲ攻撃シ遭遇戦ノ利ヲ占メザル可カラズ乍併本日ノ敵狀ニ就テ甚ダ怪シキ者アリ敵ガ數多ノ増加兵ヲ得テ更ニ前進ヲ企テタル者ナリセバ優勢ナル前衛ヲ設ケテ前進スルナルベシ然ルニ前陳ノ如ク現在敵ノ兵力ハ甚ダ優勢トモ思ハレズ果シテ優勢ナルモノトセバ敵ハ何故ニ後續部隊ヲ待タザルカ蓋シ劣勢ナル先頭部隊カ遠ク孤立シテ前進スルハ危険ノ處置ナレバナリ但シ敵ハ外ニ特別目的ヲ有スルニ因テ然スルモノナルカ或ハ亦タ案外敵ハ多數ノ増加隊ヲ得テ斷然攻撃ニ轉ジタルモノナルカモ知レズ實ニ目下ノ敵狀ハ不明ナリ今ヤ此不明ノ情況ニ於テ躊躇スルハ得策ニアラズ若シ愛甲附近ノ地區ヲ敵ノ占領ニ委スル時ハ後來我軍ノ渡河ニハ甚ダ不利ニシテ此附近ノ地區ハ是非共我有ニ歸シ置クノ必要アリ實ニ

此附近ハ馬入川右岸ノ地區ニ動作スル爲メ須要ノ據點タルモノニシテ殊ニ今ヤ此地區ハ距離上彼我ノ中間ニアリテ躊躇スルトキハ敵ノ先有トナルノ恐レアリ

以上種々ノ關係上前衛ハ斷然急速ニ前進シテ少クモ石田村附近ノ領有ヲ確實ニスルハ必要ノ事タリ

以上ノ理由ニ因テ左ノ處置ヲナス

一、前兵長ニ命ジ急行獨立騎兵ヲ支援セシメ少クモ石田村附近ヲ占領スルコトヲ勉メシム

二、前衛本隊ハ古參ノ中隊長ヲシテ引率セシメ距離ヲ閉進シテ前兵ニ跟随セシム

三、前衛司令官ハ自己ノ決心ヲ旅團長ニ報告シ自身ハ砲兵隊長ヲ隨ヘ前兵ト共ニ行進ス

砲兵ノ目標
偵察

補遺中無烟
火藥使用ノ
影響其二參
照

問 前衛ノ砲兵隊長ハ此場合ニ於テ何カ處置アリヤ
答 目標偵察ノ爲メ將校一名ヲシテ傳令卒二名ヲ從

ヘ先行セシム

方今微烟火藥採用以來砲兵使用上ニ大影響ヲ及ボセルコトハ爭フベカラザル事實ニシテ兩軍開戦スルヤ彼我互ニ砲兵陣地ヲ發見セントスルニ當リ從前ノ有烟火藥ニ比シ著シク困難ヲ感シ其對手ノ陣地ヲ速ニ發見シタル者ニ大部分ノ利益ハ屬スルモノナリ乃ハチ敵ト遭遇ノ恐レアル場合ニハ砲兵隊長ハ目標偵察者ヲ步兵尖兵若クハ前衛騎兵ト共ニ行進セシメ速ニ敵ノ砲兵陣地ヲ發見シ我砲兵射撃ノ目標點ヲ視察シ且ツ我砲兵陣地ヲ豫メ偵察セシメ一旦戰鬪展開ニ至リテハ直チニ此目標偵察官ノ報告ヲ參照シ迅速ニ放列ニ就キ得ル如クスルヲ要ス

其二ノ事項
ニ就キ

●其二ノ事項ニ就キ

〔午前八時二十分ニハ本隊ノ先頭何レノ地點ニ達シアルヤ旅團長ハ何時ニ騎兵中隊長ノ報告ヲ受領スルヤ〕

此事項ハ尤モ單簡平易ナル答解ニシテ行軍長徑ヲ算スレバ直チニ知リ得ベキコトナリ然レトモ帥兵上ニ於テ指揮官ハ常ニ是等ノ點ニ注意シアルコト尤モ緊要ニシテ必竟時機ヲ誤ラズ適當ノ指揮統帥ヲナサントセバ時間ノ計算ト各部隊ノ現在ノ位置トヲ常ニ顧慮セザルヘカラズ

乃ハチ前衛本隊ノ長徑ハ約一、千、米、突ニシテ之レニ後方距離約五百米ヲ加レバ前衛本隊ノ先頭ヨリ本隊ノ先頭マデハ千、五、百、米、ノ距離ヲ存スルナリ仍テ午前八時二十分ニハ其前衛本隊先頭ノ位置タル河原口ヨリ本隊先頭マデノ距離千五百米ヲ算シタル中新田村西南端附近ニ本隊ノ先頭ハ達シアルナリ
故ニ八時二十分ニ於テ前衛司令官ガ騎兵隊長ノ報告ニ接シタリトス

レハ旅團長ハ傳騎ガ此千五百米ノ距離ヲ經過スル時間後即チ五分乃
 至八分後此騎兵隊長ノ報告ヲ受領スヘキナリ
 傳騎ガ駈歩ヲ以テ至レバ一分間約三百米ノ比ニシテ即ハチ五分間
 ニシテ千五百米ノ距離ヲ通過スル譯ナリ然レドモ實際ニ於テハ道
 路ノ景況及ビ馬匹ノ呼吸等ノ爲メ終始駈歩ノミヲナス能ハズ故ニ
 早駈ヲ以テスレバ一分約二百米ノ比ニシテ即ハチ約八分間ニテ到
 着スル譯ナリ故ニ五分乃至八分ノ後ニ旅團長ノ許ニ達スルモノト
 セバ間違ヒナシ殊ニ此傳騎ノ送達中本隊モ續テ前進シツ、アルコ
 トナレバソレ丈ケ傳騎ノ通過距離ハ短縮スル譯ニテ如何程遅キモ
 其到着八分後ヲ過クルコトナカルベシ

●其三ノ事項ニ就キ

旅團長ガ騎兵隊長ノ報告ニ接シタル時如何ナル決心並ニ處置ヲナスヤル

其ノ三ノ事
 項ニ付キ

旅團長ハ午前八時三十分頃ニ於テ騎兵隊長ヨリノ報告並ニ前衛司令
 官ノ決心處置ニ關スル報告ヲ承知スルナラン
 此時ニ於テ旅團長ノ決心モ亦前衛司令官ニ同意ナラン即ハチ飽クマ
 デ敵ヲ攻撃シテ先制ノ利ヲ占メ且ツ後來師團ノ渡河ヲ容易ナラシメ
 ン爲メニ馬入川右岸ノ地區ヲ占領センコトヲ勉ムルナラン此ニ於テ
 今ヤ遭遇戰ノ利ヲ得ン爲メニハ適當ノ地區ニ速ニ兵隊ヲ開進セシム
 ルニアリ然ラハ其方法ハ如何スベキカ現時ニ於テ本隊ノ先頭ハ中新
 田村西端附近ニアリテ其後尾ハ猶ホ杉久保南方ニアラン此クノ如キ
 有様ニ於ケル縱隊ガ厚木橋梁ヲ經テ愛甲附近ニ開進セントセバ多ク
 ノ時間ヲ要シ機先ヲ制スルコト到底難シ故ニ現時ノ如キ非常特異ノ
 場合ニ於テハ亦タ非常ノ手段ヲ取ラザルベカラズ幸ヒニ今朝來馬入
 川ノ景況ハ多少ノ増水アルモ全ク渡涉出來ザル程ニアラズ歩兵ハ臍

敵ト遭遇シ
速ニ障礙物
前方ニ開進
スル爲メノ
分進

ヲ没スルニ至ルモ猶ホ非常ノ場合ニハ渡渉セシムベキナリ
實ニ兵隊ヲシテ深キヲ渡ラシメ殆ンド全衣ヲ水ニ濕潤セシムルハ不
本意ノ至リナリ然レドモ作戰ハ勝利ヲ以テ第一トス勝利ノ前ニ万事
ヲ顧ミル能ハズ此場合ニ於テ開進ヲ速ニセントセバ許シ得ル限リノ
渡河點ヲ利用シテ縱隊ヲ分進セシムルノ外ナシ
此分進ヲ爲サシムル爲メニハ左ノコトヲ斟酌願慮スルヲ要ス
一、各部隊ノ行軍序列ト現在ノ位置トヲ願慮シテ分進ノ爲メ迂路ヲ
ナサシメザルコト假令ヘバ歩兵第二聯隊ノ第二大隊ハ本隊ノ先
頭ニアリテ現在ハ中新田村西方附近ニアラン故ニ此部隊ヲ社家
ノ渡場ヨリ渡河セシムルハ迂路ニシテ寧ロ第一聯隊ヲ社家ヨリ
渡河セシムル如シ蓋シ第一聯隊ハ現在其先頭ヲ以テ今里村附近
ニアルベケレバナリ

戰鬪近迫ニ
當リ大行李
ノ願慮

獨立騎兵ヲ

二、戰場ニ到着ヲ要スル遲速ノ度ヲ願慮スルコト假令ヘバ砲兵ノ如
キハ尤モ進出ヲ急グモノナレバ他兵科ハ一時路外ニ避クルモ砲
兵ヲ先行セシムル如シ
三、各部隊分進ニ當リ互ニ交叉衝突セザルコト
四、後來戰場ニ於ケル部署ヲ願慮スルコト假令ヘバ右翼ニ使用セント
スル部隊ハ右翼ノ方ニ分進セシメ左翼ニ使用セントスル部隊ハ
左翼ノ方ニ分進セシムル如シ
又指揮官ハ戰鬪ノ近迫ヲ豫知スルトキハ大行李ノ處置ヲナスコト必
要ナリ兎角戰鬪前ニハ專ハラ前方ニノミ意志ヲ引カレ後方ノコトハ
忘却シ易キモノナリ指揮官タルモノハ軍隊ヲ前方ニ部署スルト同時
ニ先ヅ後方ノコトヲ常ニ考慮セザルベカラズ
又此場合ニ於テ獨立騎兵ハ前衛司令官ノ指揮下ニ屬シ前衛騎兵トナ

前衛司令官
ニ付シ前衛
騎兵トナス

スヲ適當トス夫レ敵ト既ニ近接シタル場合ニ於テ搜索ニ任ズル騎兵
ガ敵ニ衝突シタリトセンカ騎兵ハ尙ホ或ル目的ノ爲メニ前方或ハ他
方ニ行進セントスルモ敵ニ妨ゲラレ我歩兵ノ支援ヲ受ケザレバ前進
シ難キ場合又ハ前衛ニ先キンジ或ル要地ヲ占メ歩兵ノ來着ヲ待ツト
キ又ハ前衛司令官ハ開戦ノ爲メ所要ノ搜索ヲ騎兵ニ依頼セントスル
トキ等ニ在ツテ騎兵ガ前衛司令官ノ直屬ニアラザリセバ騎兵ノ報告
ハ常ニ縦隊指揮官ニ先ヅ呈セラレ前衛司令官ノ敵狀ヲ知ルハ常ニ機
ニ遅レ又前衛司令官ハ開戦ニ當ツテ騎兵ヲ有利ニ支援シ有利ニ動作
セシムルコト難ク即ハチ騎兵ノ搜索動作ト前衛ノ開戦動作ガ機ニ應
ジ適當ニ連繫合一セズ故ニ敵ニ近クニ至ツテハ騎兵ヲ前衛司令官ニ
屬シ騎兵ノ搜索動作ヲ或ハ支援シ或ハ騎兵ニ由テ前衛ノ開戦動作ヲ
補助セシメ互ニ投機ノ連繫運動ヲナサシムルヲ利アリトス

敵ト遭遇ス
ルニ當リ指
揮官ハ成ル
ベク敵方ニ
近ク位置シ
アルヲ要ス

戦闘ヲ開始セントスルニ當リテ指揮官ガ敵方ノ情况地形等ヲ速ニ見
聞スルハ我方策部署ノ決定ヲ迅速ナラシムル基ナリ殊ニ遭遇戦ニ於
テハ此事必要ナリ故ニ九月四日午前八時三十分ノ場合ニ於テ旅團長
ハ速ニ前衛本隊ノ先頭ニ至ルヲ要ス

以上説述スル所ニ由レバ九月四日午前八時三十分ニ於ケル旅團長ノ
決心處置ハ左ノ如クナルヘシ

決心

敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ馬入川右岸愛甲村附近ニ進出ス

處置

一、歩兵第二聯隊第二大隊ハ馬入川ノ左岸河原ヲ行進シ(野砲兵進出ヲ

妨グザル爲メ厚木橋梁ヲ經テ恩名村ヨリ舟子村ニ至ラシム

二、山砲兵ハ社家渡場ヨリ岡田村ヲ經テ愛甲村ニ至ラシム

三、野砲兵ハ早躰行進ヲ以テ中新田村ヲ經テ豫メ工兵隊ノ設備セル渡河點ニ至リ渡河後大山街道ヲ愛甲ニ向ヒ前進セシム

四、歩兵第一聯隊第一大隊ハ山砲兵ニ續キテ社家渡場ヲ渡リ馬入川右岸ノ河原ニ沿フテ岡田ニ至リ愛甲村ニ進マシム

五、歩兵第一聯隊(第一大隊欠ク)ハ岡田渡場ヲ渡リ岡田ヨリ愛甲村ニ至ラシム

六、衛生隊ハ厚木ヲ經テ舟子村ニ至ラシム

愛甲附近ニテ會戰スルニ當リ我戰線ハ地形上西南方ニ面シ其退却路ハ西北方ニ通ズ故ニ酒井村岡田村ノ如キハ左翼ニ偏シ動クモスレバ敵ノ脅威ヲ受クル恐レアルヲ以テ衛生隊開設ノ地點ニ

適セズ而シテ舟子村ハ戰線ノ中央後トナリ敵ニ對シ充分掩護セラル、ヲ以テ先ヅ此地點附近ニ衛生隊ヲ進メ置ク所以ナリ

衛生隊ガ舟子村附近ニ至ルニハ岡田附近ヨリ渡渉スルモ又々厚木橋梁ヨリ渡河スルモ著シク大差ナシ殊ニ衛生隊ハ戰列兵ノ如ク會戰最先頭ニ展開スルモノニアラズ若干分時ハ遅ル、モ其間ハ隊附衛生部員ニテ一時ノ救急ヲナシ得ルガ故ニ少時間ヲ爭フ爲メ危險ヲ犯サンヨリハ寧ロ安全ナル厚木橋梁ヨリ渡河セシムルコト、セリ

七、大行李ハ國分村ニ至リ停止セシム

是レ退却路ハ大山街道上ニ取ルヲ要スルヲ以テナリ

八、旅團長ハ前衛司令官ノ決心ヲ認可シ且ツ獨立騎兵ヲ自今同官ノ指揮ニ屬スル旨ヲ通報シ旅團長自身ハ前衛ノ先頭ニ行進ス

其四ノ事項
ニ就キ

九月四日午
前八時二十
分ニ於ケル
左側支隊長
ノ情況判斷
(攻撃ヲ以

●其四ノ事項ニ就キ(午前八時二十分ニ於ケル)
左側支隊ノ任務ハ極メテ困難ナル者ニシテ寡ヲ以テ衆敵ヲ擊留セザ
ルベカラズ此任務ヲ完全ニ盡サン爲メニハ須ラク思慮周到ナラザル
ベカラズ午前八時二十分迄ニ得タル情報ニ由レバ甚ダ疑ハシキ徵候
アリ即ハチ八時二十分ニ於ケル左側支隊長ノ情況判斷ハ左ノ如クナ
ルベシ

判決

左側支隊ハ迅速ニ西小磯附近ニ前進シ全地附近ノ敵ヲ攻撃スルヲ要
ス

理由

西小磯西北方ノ高地ヲ占領セル敵ノ歩兵約一中隊ハ果シテ何ヲナサ

テ敵ヲ擊留
ス)

ント欲スル者ナルカ若シ敵ガ東海道ヲ前進シ來ルモノナリセバ此高
地ヲ占領スルノ必要ナシ察スルニ敵ハ國府新宿ヨリ北方ニ運動セシ
ガ爲メ東海道ニ對シ其側面ヲ掩護セントスル者ナルベシ殊ニ大磯附
近ニ唯ダ監視兵ノミヲ殘シ其騎兵ガ北方ニ運動スルヲ以テ見ルモ敵
ハ南原方向ニ運動スルノ意圖アルガ如キヲ想像シ得ラル、ナリ果シ
テ然ラバ支隊ハ任務上之レヲ擊留スル爲メ速ニ前進セザルベカラズ
東海道ヨリ伊勢原方面ニ運動スベキ交通線ハ國府本郷ヨリ上吉澤ニ
通ズル道路ニ由ラサルヲ得ズ而シテ敵ガ西小磯西北方ノ高地ヲ占領
スル時ハ我ハ敵ノ北方ニ向フノ運動ヲ妨害シ能ハズ故ニ我ハ是非共
西小磯西北高地ノ敵ヲ擊退シ此北方交通ノ道路ヲ我制下ニ置カサル
ベカラズ
更ニ一步ヲ進メ觀察スル時ハ敵ハ午前七時頃既ニ西小磯西北高地ヲ

占頭セルガ故ニ現時ハ既ニ大部分ヲ以テ國府新宿附近ヲ通過シ續々北方運動ヲナシアルヤモ知レズ果シテ然ラバ支隊ハ此敵ヲ追攝シ猛烈ナル攻撃ヲ以テ敵ノ北方運動ヲ斷念シテ我ニ對スルノ餘儀ナキニ至ラシメザルベカラズ而シテ敵ノ北方運動如何ヲ知ルニハ騎兵ヲシテ公所村、出繩村方向ヲ速ニ搜索セシムルコト必要ナリ且ツ支隊ノ右側警戒ノ爲メ又タ時宜ニヨレバ騎兵ノ後援タラシムル爲メ步兵ノ一部ヲ出繩村ノ方向ニ進マシムルコトハ必要ナラン

- 以上ノ理由ヲ以テ左ノ處置ヲナス
- 一、步兵一小隊ヲ右側衛トシテ出繩村ニ進マシメ且ツ騎兵ノ支援タラシム
 - 二、騎兵小隊ハ右側衛タル步兵小隊ノ支援ヲ受ケ速ニ出繩村及ヒ公所村方向ヨリ上吉澤、國府本郷ニ通スル道路ヲ搜索セシム

- 三、左側支隊ノ前衛ハ大磯附近ニ於ケル敵ノ監視兵ヲ驅逐シ西小磯ニ進マシム
- 四、本隊ハ前衛ニ距離ヲ短縮シテ跟隨ス

攻撃精神ニ就キ

攻撃精神ニ就キ 抑々獨斷專行ハ案リニ爲スベキモノニアラズ任務ノ性質ヲ考慮シ高等指揮官ノ意圖外ニ走ラザル範圍内ニ於テ不時ノ異變ニ處スル爲メ下級指揮官ガ責任ヲ帶ビテ施行スヘキモノナリ然レトモ一方ニ於テハ此獨斷專行ノ責任ヲ恐レ唯ダ過失ナカラントノミヲ希望スルトキハ遂ニ精神萎縮ニ至ルコトヲ鑑ミザルベカラズ抑々精神ノ萎縮ハ軍隊ニ活動力ヲ失ハシメ逸巡狐疑途ニ他動的即チ積極的動作ヲナス能ハズシテ受動的即チ消極的動作ニ陥ラシメ從ツテ戦闘ニ於テ無形上ノ優勢換言スレバ志氣上ノ優勢ヲ占ムル能

ハザルニ至ル夫レ志氣上ノ優勢ハ何ニ由テ得ラルベキカ軍隊ニ攻撃精神ノ充滿スルニ由テ得ラルベキハミ
 軍隊中ニ攻撃精神充滿スル時ハ多クノ場合ニ於テ寡兵ト雖モ能ク衆敵ヲ制スルヲ得ベシ所謂機先ヲ以テ敵ヲ受動的ニ陪ラシメ彼ノ意圖ヲ曲ゲテ我ニ從屬セザルヲ得ザルノ餘儀ナキニ至ラシムルモノナリ
 九月四日午前八時二十分ニ於ケル情況ニ於テ前衛司令官左側支隊長旅團長等ハ皆前陣ノ如ク攻撃精神ヲ以テ事ヲ處セリ是レ實ニ可ナリ
 此場合ニ於ケル攻撃精神ハ實ニ敵ヲ制シテ我ニ從ハシムルノ大運命ヲ決スルモノナリ蓋シ旅團本隊ノ方面ハ今ヤ遭遇戦ヲ開カントスル時機ニシテ其勝利ノ大部分ハ機先ニ由テ制セラルベク又左側支隊ノ方面ハ敵ノ施行セントスル意圖ヲ妨グ我ニ從屬セシメントスル者ニシテ是レ又機先ニ由テ其大部分ノ目的ヲ達シ得ベケレバナリ實ニ此場合ニ於テ一瞬タリトモ躊躇スル時ハ途ニ其機ヲ誤リ達シ得ラレベキ企圖モ途ニ達シ得ラレザル不幸ニ陪ルベシ古來名將ノ曰ク攻勦其

第二篇 攻戰
 守戰ノ條ニ
 戰史例證ア
 リ參照スベシ

何レハ取ルベキカ利害ノ判別難キ場合ニハ先ヅ攻撃ヲ取ルベシト是レ攻撃ハ萬事ヲ制スベキ貴重ナル志氣ノ優勢ヲ占メ得ルヲ以テナリ
 千八百七十年普佛ノ戰役ニ於テ獨乙軍ハ常ニ此攻撃精神ヲ以テ如何ナル難境ヲモ凌ギ又ハ不利ノ形勢ヲ一變シテ有利ノ形勢トナシ以テ勝利ヲ占メタリ但シ過度ノ攻撃精神ハ反ツテ往々過早ノ攻撃或ハ孤立挺進各個戰ノ如キ失策ヲナサシメタリト雖ドモ全軍隊ノ精神一致ト友軍互ニ相應援スルノ協同心トハ其失策ヨリ生ズル不幸ヲ恢復シ或ハ救脱セシメ以テ最後ニハ全局ノ勝利ニ歸セシメタリ
 之レニ反シ佛軍ハ常ニ防守的精神ノ爲メ現在有利ノ情況モ之レチ利用スルコトナク一ツモ爲ス所ナク不利ノ情況ニ變化セシメ敗北又敗北ヲ以テ終レリ但シ佛軍ト雖トモ下級幹部ニ於テハ勇敢攻撃精神ヲ以テ勇猛ナル戰鬪ヲナシタルコトナキニシモアラサレモ元來高等統帥部ノ決心が攻撃精神ニ乏シキ爲メ會々下級小單位ノ爲シタル勇戰奮闘モ個々別々ノ部分戰タルニ過ギズシテ全局ノ勝利ヲ全フスル能ハサリシ

攻撃精神ハ
程度調節

即ハチ之レヲ結論セハ先制ハ利チ占ムルト否トハ攻撃精神ハ消長ニ
ア、リ攻撃精神ノ過度ハ會々以テ過度ノ獨斷專行ニ流ルハ弊アリ之レ
チ、節度スルハ全軍ノ目的ヲ協同一致シテ貫徹セシムルコトノ感銘ト各自
任、務ノ範圍ヲ反省スルトニ由テ各個人ノ功名心ニ走ルチ憤ムニアリ

九月四日午
前九時四十
分迄ニ於ケ
ル情況

●九月四日午前九時四十分迄ニ於ケル情況

○前衛司令官ハ前兵ト共ニ行進シ午後九時十五分愛甲村ノ高地ニ達
スルヤ前方ニ銃聲ノ起ルヲ聞ク同時ニ尖兵ヨリ左ノ報告ヲ受領ス
一、尖兵ハ石田村西端ニ達ス
二、我騎兵部隊ハ敵ノ歩兵約一中隊ニ追接セラレ尖兵ノ前方約七百
米ノ處ヲ退却シ來ル
三、尖兵ハ石田村西端ヲ占領シ我騎兵部隊ヲ收容セントス

敵ト第一ノ
衝突ニ於テ
前衛ノ敵狀
偵察
第四篇行軍
搜索警戒ノ
條其三參照

問 右ノ情況ニ於テ前衛司令官ハ如何ニスルヤ
答 前衛司令官ハ先ヅ石田村西端ヲ占領シ一小隊ヲ側面警戒ノ爲メ
下落合村附近ニ出シテ敵狀ヲ偵察ス

○午前九時三十分前衛ハ石田村ニ於テ大山街道ヲ退却シ來ル騎兵部
隊ヲ收容シ標高40,4ノ高地ニ展開スル敵ノ歩兵ト劇烈ナル放火ヲ交ユ
左側警戒ノ爲メ派遣セラレタル歩兵一小隊ハ下落合村ヲ占領シ沼
目村方向ヨリ退却シ來リタル騎兵部隊ハ長沼村附近ニ在リテ玉川
ヲ隔タテ、敵ノ騎兵ト相對ス

○石田村及ヒ標高^{40,4}ノ高地附近ニハ彼我漸次兵力ヲ展開シ午前九時四十分ニハ彼我ノ情況左ノ如シ

- 一、敵ハ標高^{40,4}ヨリ八幡祠ニ亘ル高地上ニ歩兵約二中隊ヲ展開セリ
- 二、我前衛ハ石田村西端ニ於テ歩兵約三中隊ヲ展開シ敵ニ對抗ス
- 三、前衛砲兵ハ淨心寺東北方ニ放列陣地ヲ占メ敵ノ歩兵隊ニ向ツテ射撃ヲ開始ス
- 四、前衛騎兵ノ一部ハ右翼ニ在リテ高森村方向ノ警戒ニ任ジ主力ハ依然長澤村附近ニ在ツテ敵騎ト相對ス在下落合村ノ歩兵小隊ハ騎兵ト協力側面ノ警戒ニ任シアリ
- 五、本隊ノ諸隊ハ各々午前八時三十分ニ於ケル旅團長ノ計畫ノ如ク渡河シ其一部ハ既ニ愛甲村附近ニ開進ヲ終リ殘餘ハ續々開進中ナリ

前衛カ劣勢ナル敵ニ遭遇シタル時

○東富岡村方向ニ差遣シアリシ我騎兵斥候ノ報告ニ依レバ敵ハ伊勢原ノ高地ニ防禦工事ヲ開始セル者ノ如シ

○左側支隊ノ方向ヨリハ未ダ何等ノ情報ニ接セズ

問 右ノ情況ニ於テ前衛司令官ノ決心如何

答 前衛司令官ハ前面ノ敵ヲ攻撃驅逐セントス

抑モ前衛司令官ハ午前八時二十分ニ於テ馬入川右岸ノ陣地ヲ占領シ少クモ本隊ノ開進ヲ掩護シ若シ情況之レヲ許セバ先制敵ヲ攻撃スルノ決心ヲナセリ今ヤ前衛ハ既ニ石田村ヲ占領シ本隊モ既ニ間モナク開進ヲ終ル時機ナリ而シテ前面ノ敵狀ヲ判斷スレバ目下我ニ對シアル者ハ我ヨリ劣勢ナルモノ、如ク又伊勢原附近ニ敵ガ防禦工事ヲ爲スガ如キノ情報ニ由テ見ルモ前面ニ展開シアル敵ハ工事ノ掩護隊ナ

第四篇行軍
ノ搜索警戒
ノ條其三參
照

九月四日午
前十一時迄
ニ於ケル情
況

ルベク敵ノ本陣地ハ伊勢原附近ナルコトヲ推知スルニ足ルナリ夫レ
前衛ノ任務トシテハ劣勢ナル敵ニ遭遇セバ決意攻撃シ本隊ノ進路ヲ
開クヲ要ス即ハチ前衛ハ此際決意前面ノ敵ヲ驅逐シ本隊ノ進路ヲ開
キ伊勢原附近ノ敵ガ防禦工事ヲ完成セザル以前ニ於テ本隊ヲシテ速
カニ之ヲ攻撃セシムルヲ要ス

●九月四日午前十一時迄ニ於ケル情況

○午前九時四十分ヨリ前衛ハ先ヅ砲兵ヲ以テ敵ノ歩兵ヲ劇シク砲撃
セシメ續テ本隊ヨリモ若干ノ増援ヲ得テ決然歩兵ノ攻撃ヲ行ヒシ
ガ敵ハ我威力ニ堪ヘズシテ退却シ前衛ハ之レヲ追攝シツ、午前十
一時下槽屋村西端ニ達ス

○下落合村ニ派遣セラレタル歩兵小隊及ビ長沼村附近ニアリシ前衛
騎兵ノ主力ハ共ニ協同シテ敵騎ヲ擊退シ午前十一時池端村沼目村
ノ線ニ達ス

○午前十一時ニ於テ下槽屋、池端村附近ヨリ目撃シ得ル敵情ハ左ノ如
シ

- 一、前衛ニ追攝セラレツ、退却シタリシ敵ハ田中村東端ニ於ケル
敵ノ歩兵ニ由テ收容セラル
- 二、田中村西方高地附近ニハ處々ニ新堆土ヲ見ル殊ニ田中村南方
高地上ニハ砲兵肩墻ラシキ者ヲ見ル

問 騎兵隊長ハ如何ナル處置ニ出ヅルカ
答 歩兵ノ援助ヲ受ケツ、威力ヲ以テ敵狀搜索ヲ爲

騎兵ノ威力
ノ搜索

ス
夫レ騎兵ガ敵ノ陣地ニ衝突シタル場合ニ於テハ敵ノ歩兵ニ對抗スル
コトハ到底爲シ得ベキ所ニアラズ即ハチ此時ニ當リテハ敵ノ陣地ノ
正面兩翼ヲ搜索シテ確實ナル情報ヲ速カニ縱隊指揮官ニ送ルコトヲ
勉メザルベカラス且ツ同時ニ前衛ノ運動ヲ掩護スルヲ要ス之レガ爲
メ、執ルベキ搜索法ハ成ルベク多クノ斥候ヲ出スヲ以テ最大緊要トス
然レモ敵モ亦陣地ヲ占メ警備網ヲ配布シアル以上ハ我ガ斥候ガ果シ
テ能ク敵ノ警備網中ニ潜入シ得ルヤ否ヤ尋常ニ於テハ唯ダ敵ノ前線
ヲ視察シ得ルニ過ギズシテ能ク其内部マデ搜索ノ目的ヲ達スルハ難
カルベシ此ニ於テカ敵ノ若干ノ監視兵ハ之ヲ擊退シ其内部ヲ窺知ス
ルハ必要ニ迫マルコト蓋シ屢ナラン
九月四日午前十一時ノ情況ニ於テ騎兵隊長ハ敵ノ陣地兩翼並ニ成シ

得ルタケ其後方ノ狀況ヲ速ニ搜索シ指揮官ニ計畫ノ材料ヲ與ヘザル
ベカラズ之レガ爲メニハ敵ノ陣地中諸要點ニ向ツテ斥候ヲ放チ之レ
ヲ搜索セシムルト同時ニ主力ハ沼目村ヨリ伊勢原南方附近ニ進出シ
敵ノ右側ヨリ其背隊ヲ搜索スルヲ要ス以上ノ如キ決心ヲ騎兵隊長ガ
取ルニ於テハ固ヨリ種々ノ障碍ニ遭遇スルコトヲ覺悟セザルベカラ
ス即チ先ヅ前面ニ觸接シアル敵ノ騎兵ヲ驅逐シ又敵ノ陣地ニ接近ス
ルニ從ヒ歩兵ノ妨害ヲモ受クルナラン是等ノ妨害ヲ排除シテ目的ヲ
達センニハ騎兵ノミニテハ或ハ威力ノ不足スルコトアラン故ニ若干
ノ歩兵ヲシテ騎兵ノ後援タラシムルコト緊要ナリ

問 午前十一時ニ於テ前衛司令官ハ如何ニ決心スル

前衛が優勢ナル敵ニ對スル場合

第四篇行軍搜索警戒ノ條其三參照

答 ヤ 前衛ハ下槽屋村附近ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護ス

今朝來種々ノ情報ヲ綜合シテ敵狀ヲ判斷スル時ハ伊勢原附近ニアル敵ハ輕視スル能ハズ今ヤ前衛ハ優勢ナル敵ノ止陣セシ者ニ遭遇シタル場合ノ原則ニ適スル處置ヲ取ラザルベカラズ即ハチ前衛ハ戒愼ヲ加ヘ眞面目ノ戰鬪ヲナスコトナク宜シク陣地ヲ占メ敵ノ兵力ト陣地ノ形狀ヲ偵察シ本隊ノ開進及ビ展開ヲ掩護セザルベカラズ

第十二問

陣地ニアル敵ヲ攻撃スル場合ノ研究

陣地ニアル敵ヲ攻撃スル場合ノ研究ニ關スル原則

旅團長ハ前衛司令官ト同行シアルヲ以テ前衛司令官ノ決心處置ハ直チニ之レヲ承知シ且ツ之レヲ認可スルナラン而シテ爾後ノ處置ニ就キ旅團長ハ如何ニナスヤ是レ研究問題ナリ
凡ソ防禦陣地ニ據ル敵ヲ攻撃スルニハ戒愼ヲ加ヘ充分計畫ヲ立テ有効ナル火戰ヲ以テ先ヅ攻撃ヲ備準シ縱層配備ト各隊協同統一ノ指揮トヲ以テ本攻撃ヲ爲サルベカラズ決シテ急速輕舉ニ出ヅルコトナク成ルベク合同命令ヲ以テ普ク各隊ノ動作ヲ互ニ知ラシメ動作ノ一致連繫ヲ確實ニセザルベカラズ是レ遭遇戰トハ大ニ其趣キヲ異ニスル所ナリ
故ニ旅團長ハ前衛ノ掩護ニ由リ本隊ヲ先ヅ開進セシメ此開進中諸種ノ手段ニ由リ敵狀偵察ヲ勉メ其偵察ノ結果ニ由テ攻撃計畫ヲ定メ各隊ノ部署運動ヲ命令スルヲ要ス

乃ハチ旅團長ハ地圖ヲ閱シ爾後ノ部署ニ關スル大體ノ計畫ヲ定メ次
ギノ如キ開進命令ヲ下スナラン

混成第一旅團命令

九月四日午前十一時
下槽屋村北方壽經寺ニ於テ

開進命令

- 一、敵ハ伊勢原東方高地ヲ占領セリ
 - 前衛ハ字竹林西方高地ヨリ下槽屋西端ニ亘ル線ヲ占領セリ
 - 二、旅團ハ敵ヲ攻撃セントス
 - 三、諸隊ハ壽經寺西方ニ開進スベシ
 - 四、衛生隊ハ粟窪村附近ニ開設ノ準備ヲナスヘシ
 - 五、余ハ下槽屋村西端高地ニ至ル
- 即時同所ニ命令受領者ヲ出セ

旅團長署名

開進命令ニ
付説明

此命令ハ副官ヲシテ各隊長ニ口達セシム同時ニ第一聯隊長ヲ招致セシム

右開進命令文ニ付キ説明

- 後ニ精細ナル攻撃命令ヲ下ス故ニ開進命令ハ尤モ單簡ニテ可ナリ
- 抑々開進セシムベキ地點ハ直チニ開進ノ隊形ヲ以テ何レノ方面ニ
モ運動シ得ルヲ要ス故ニ若シ下槽屋村附近ノ水田ガ通過ヲ許サ
ル時ニ於テハ壽經寺西方ニ開進スルモ無益ナリ何トナレバ戰線ニ
向ツテ前進スルニ當リ再ビ此水田中ノ一條隘路ヲ通過スル爲メ途
上縦隊トナルヲ要スルナリ然レドモ現時ノ季節ハ開進隊形ヲ以テ
此水田ヲ渡涉シ得ルヲ以テ爰ニ開進セシムルモ差支ヘナシ
- 伊勢原東方高地附近ノ陣地ニ對シテ大山街道ハ殆ンド其正面ニ平

敵ニ側面陣
地ヲ占メラ
ル、不利

行スルヲ以テ我若シ字竹林方面ヨリ攻撃ヲ行フ時ハ我退路ハ其側
面ヲ敵ニ暴露シ敵カ伊勢原東方ヨリ下槽屋村ニ向ヒ攻勢ヲ取ル時
ハ全ク退路ヲ遮斷セラル、ナリ故ニ此攻撃ヲナスニ當リ不幸ノ場
合ニハ退路ヲ北方即チ岡津古久村方向ニ取ラザルベカラズ即チ敵
ハ側面陣地ノ利ヲ占ムナリ我若シ此クノ如ク敵ニ側面陣地ヲ占メ
ラル、ノ不利ヲ避ケントセバ大山街道ヨリ池端村方向ニ運動シ伊
勢原東南方ヨリ攻撃スルヲ要ス此場合ニ於ケル利害如何ヲ看察ス
レバ前者ノ不利ヨリ一層大ナル不利アルベシ蓋シ大山街道ヨリ池
端村ニ向フ運動ハ全ク敵ニ暴露シ且ツ假リニ此運動ヲ爲シタリト
スルモ敵ガ西北方ヨリ南方ニ向ヒ攻撃ヲ取ル時ハ同ジク我退路ハ
危険ナレバナリ

池端村方向ヨリ陽攻ヲ施行スルノ決心ヲ以テ不幸ノ場合ニハ退路
ヲ岡津古久村方向ニ取ルモ差支ヘナキ爲メ衛生隊ハ此方向ニ接近
シタル處即チ粟津村附近ニ開設ノ準備ヲ命ゼリ

○大行李輻重ニ關スルコトハ既ニ過刻停止ヲ命シアル故此場合ニ於
テ別ニ命令スル必要ナシ故ニ命令文ニナシ

○第一聯隊長ヲ招致スル所以ノ者ハ攻撃實施ノ爲メ親シク訓旨シ且
ツ前面ノ敵狀ヲ視察セシメン爲メナリ

○旅團長ハ前線ニ至リ敵狀ヲ親シク目撃スル爲メ命令文第五項ノ如
ク自己ノ位置ヲ示セリ

前線ノ如ク旅團長ハ開進命令ヲ下シタル後砲兵隊長ヲ從ヘ陣地ノ偵
察ヲナシ又親シク敵狀ヲ視察シ攻撃計畫ヲ決定ス斯クスル間ニ第一

聯隊長及ビ各隊命令受領者ハ所命ノ地ニ集リ來ルナラン
此ニ於テ旅團長ハ左ノ攻撃命令ヲ口達ス

攻撃ノ爲メ
ニ下ス合同
命令

混成第一旅團命令

九月四日午前十一時三十分
下槽屋西端高地ニ於テ

- 一、敵ハ伊勢原東北方高地上ニ於テ大山街道ノ兩側ニ亘リ防禦工事ヲ施セリ其右翼高地端ニハ約十二門ノ砲兵肩墻アリ
- 前衛ハ一部ヲ以テ字竹林西方高地ヲ主力ヲ以テ下槽屋西端ヲ占領セリ
- 池端村西端附近ニハ前衛ヨリ一小隊ヲ派遣シ左側ノ警戒ニ任セリ
- 二、旅團ハ敵ノ左翼ニ向ツテ攻撃セントス
- 三、步兵第一聯隊第三大隊ハ下槽屋村大慈寺方向ヨリ伊勢原東北方砲兵陣地附近ニ向ヒ陽攻ヲ行フベシ

- 四、步兵第一聯隊第三大隊欠クハ字竹林西方高地ヨリ田中村西北高地端ニ向ヒ本攻ヲ行フベシ
- 五、前衛ハ現在ノ地ニ在ツテ第一聯隊ノ攻撃ヲ援助スベシ
- 六、砲兵第四中隊ハ壽經寺東北高地附近ニ於テ同第五中隊ハ字竹林北方高地附近ニ於テ陣地ヲ撰定シ第一聯隊ノ攻撃ヲ援助スベシ
- 七、前衛騎兵ハ自今余ノ直轄ニ復シ沼目村西方附近ニ在ツテ左側ノ警戒ニ任ズヘシ殊ニ矢崎村方向ヲ搜索スベシ
- 八、步兵第二聯隊第二大隊ハ余ノ直轄ニ屬シ下槽屋西端高地ノ北側ニ位置スヘシ
- 九、衛生隊ハ粟窪村附近ニ繃帶所ヲ開設スベシ
- 十、余ハ下槽屋村西端高地ニアリ

少將 某

右攻撃命令ニ就キ説明

○此場合ニ於ケル彼我ノ情況ノ指示ハ攻撃隊ノ参考トナルヲ以テ詳細ナルヲ可トス殊ニ敵ノ砲兵陣地ヲ示スハ必要ナリ

○本攻撃ヲ向ケタル點ハ敵ノ退路ヲ脅威スル利アリ

○山砲ト野砲ノ陣地ハ地形上已ムヲ得ズ甚シク離隔スルニ至リタレドモ若シ地形之レヲ許ス時ト雖モ野砲ト山砲トハ同一線上ニ置カザルヲ可トス是レ各其射程ヲ異ニスル故之レヲ同一線ニ置クトキハ野砲ノ遠距離射程ノ効用ヲ發揚セシムル能ハザレバナリ殊ニ敵ノ砲兵ガ山砲ナル時ハ野砲ハ敵ノ山砲有効射程外ニ位置シテ彼ハ我ニ損害ヲ與フル能ハズシテ我ハ彼ニ充分損害ヲ與ヘ得ルノ利ヲ發揚セシムルヲ要ス壽經寺東北方ノ高地ハ敵ノ砲兵陣地ヨリ約二

千米突ナルヲ以テ敵ノ砲兵ガ山砲ナリセバ我ハ敵ヨリ損害ヲ受クルコト少ク有効ニ彼ヲ射撃シ得ルナリ

- 左側支隊ノ方面ヨリハ未ダ何等ノ情報ニ接セザレモ東海道方面ニアル敵ハ何時我左側ニ迫マリ來ルヤモ知レズ故ニ騎兵ヲシテ左側ノ警戒ニ任ゼシメ且ツ矢崎村方面ヲ搜索セシムルハ緊要ナリ
- 總豫備隊ノ所在ハ本攻撃ノ方面ニモ亦タ敵ガ我左翼ニ逆襲シタル場合ニモ便宜何レニモ使用シ得ル如ク位置ヲ撰定シタルナリ
- 旅團長ノ位置ハ全線ノ展望自在ニシテ且ツ命令報告ハ傳達ニ便ナル如ク撰定セリ

前記命令ニ由ツテ各隊長ハ攻撃動作ヲ開始スルナラン此攻撃動作研

究ノ爲メ左ニ若干砲兵騎兵ノ戰闘原則ヲ說叙セントス

問 砲兵戰ニ於テ主眼トスベキハ如何ナルコトナル

ヤ

答 我兵器ノ効力ヲ熾大ニシ敵ノ兵器ノ効力ヲ減殺シ得ルヲ以テ主

眼トシ地形ト戰況トニ從ヒ適當ニ之レヲ應用セザルベカラズ

夫レ戰闘ノ原則トシテ常ニ先ヅ我兵器ノ効力ヲ熾大ナラシムルコト
ヲ第一トシ第二ニ敵ノ兵器ノ効力ヲ減殺スルコトヲ勉ムルヲ要ス決
シテ我損害ヲ減ズルコトノミチ主トシ爲メニ我兵器ノ効力ヲ害スル
等ノコトアルベカラズ假令ヘバ爰ニ一ツハ遮蔽シテ敵ノ損害ヲ受ル
ルコトハ少ケレモ我射撃ハ射界狭ク充分ナラザル陣地ト一ツハ敵ノ
射撃ニ對シテハ掩護物ナケレモ射界廣ク我射撃ノ威力ヲ充分發揚シ
得ル陣地アリトセンカ即チ我射撃ノ効力ヲ第一トシ損害ヲ減ズルヲ
第二トシテ乙ノ陣地ヲ採用セザルベカラズ故ニ凡テ敵ニ損害ヲ多ク

與ヘ得ルノ方法ヲナシテ然ル後初メテ我損害ヲ減ズル方法ヲ考ヘザ
ルベカラズ而シテ此主意ヲ以テ總テノ砲兵戰術ノ要領ヲ地形ト戰況
トニ從ヒ適當ニ應用セザルベカラズ

問 砲兵各級指揮官ノ部下ヲ統帥スル爲メ如何ナル

コトヲ注意スヘキヤ

答 各級ノ指揮官ハ機ヲ誤ラス命令ヲ下スヲ要ス拱手躊躇ノ害ハ方

法ノ撰定ヲ誤ルヨリモ大ナルコトヲ忘ルヘカラズ

抑モ各級ノ指揮官ハ機ヲ誤ラス命令ヲ下スヲ要スレハ一般戰術ノ原
則タリ殊ニ砲兵戰術ニ於テ目標變換彈種變換彈藥補充ノ時機等ハ其
機ヲ誤ルト否トニ由テ著シク効力ヲ左右スルモノナリ凡ソ物事ハ巧
妙ナラン爲メ躊躇シテ決スル所ナク遲延時ヲ移スヨリハ寧ろ拙ナル

モ果斷ナルヲ可トス戰闘ニ於テ第一ニ必要ナルハ方法ノ可否ヨリハ
時機ノ投否如何ナリ
時機サヘ其ナレバ假令ヒ少々其方法ガ惡シクレバトテ之レチ價フコ
トチ得之レニ反シ時機ガ惡シキ時ハ如何ニ其ノ方法ガ其ナレバトテ
効力少シ諺ニ兵ハ機ナリ或ハ兵ハ拙速チ貴ビ巧運チ貴ハズト云フ如
キ必竟時機ニ投ズルノ必要チ指示スルモノナラン

問 砲兵戰一般ノ原則トシテ遵守スヘキ要項如何

答 砲兵操典第三百五十一ヨリ第五百五十九ニ示シアリ今若干是等

第一篇砲兵
戰闘要領ノ
條項參照

兵力集團ノ
必要

ノ解説ヲナサントス
砲兵ハ同時ニ數多ノ彈丸ヲ送ツテ一時ニ敵ヲ沈黙セシムルコトヲ謀
ルチ緊要トス逐次ニ小數ノ砲兵ヲ用ユルハ兵力チ個々ニ使用スルニ
等シク之レチ例スルニ五本ノ指チ固メテ拳打チナスト五本ノ指チ一

集團ニ關ス
ル注意

陣地ニ關ス
ル

本ツ、用ヒテ指打チナスト何レカ痛ミチ感ズルヤト云フニ甲者チ以
テ勝レリトスル如シ兵力使用モ是レト同理ナリ若シ敵ガ優勢ナル砲
兵チ以テスルニ我ハ個々ノ砲兵使用チナサバ忽チ敵カラ我ヲ沈黙セ
シメラル、ナリ故ニ常ニ敵ニ勝ル優勢ノ砲數ヲ同時ニ使用シテ集團
力チ以テ敵ヲ沈黙セシメザルベカラズ
集團ト云フニ付キ一言注意シ置クハ砲兵チ一所ニ纏メテ使用ス
ルニ非ラザレバ集團ニアラザルヤノ誤見チ生ズル者モアラン是レ決
シテ然ラズ假令ヒ一所ニ纏メテ置カザルモ射撃ノ指揮ガ統一的ニ行
ハレ統一射撃チ規定シ同一入目的ニ向ツテ彈丸ヲ集射スレバ是
レ即チ集團ノ要旨ニ叶フモノナリ到底數多ノ砲チ一所ニ纏メテ放列
チ布ク如キ陣地ハ稀ナリ故ニ離レテ居ルモ統一ニ指揮ガ行ハレル丈
ケニ離レテ居ルハ差支ヘナキナリ
砲兵陣地ハ陣地ノ骨幹ニシテ其骨幹チ何レノ點ニ位置セシメテ何レ
ノ方面ヨリ如何ニ戰闘チ指導スルヤハ指揮官ノ計畫セル戰闘目的ニ

從フモノニシテ假令バ指揮官ガ敵ノ右翼ニ攻撃セント欲セバ右翼ヲ能ク射撃シ得ル如ク陣地ヲ撰定シ歩兵ノ戦闘ト都合ヨク連繫セザルベカラズ故ニ砲兵隊長ハ其陣地撰定並ニ展開スベキ砲兵ノ數ニ就キ指揮官ヨリ命令ヲ受クルモノナリ

指揮官ハ假令ヘバ敵ノ砲兵ガ優勢ナル爲メ我砲兵ハ一時戦闘ヲ避クシメ最後ノ決戦ニ至ルマテ砲兵ヲ貯ヘ置クカ、或ハ全砲兵ヲ以テ歩兵ノ攻撃ニ跟随シテ前進攻撃ヲ鼓舞セシムルカ、或ハ持久戦ヲナサントスルカ等ノ或ル方策ニ付テ砲兵隊長ニ命令ヲ與フルナラシムル故ニ砲兵隊長ハ其方策ニ適合スル如ク部下ヲシテ動作セシムルヲ要ス

戦闘間某中隊他ノ大隊ノ傍ニ陣地ヲ占ムルハ其隊長ノ指揮ヲ受クルモノトス殊ニ遭遇戦ニ於テハ逐次ニ陣地進入ヲナスヲ以テ後ニ來ル中隊ハ他中隊ノ間ニ入りテ連繫ヲ破ル等ノ一往々アルナリ即チ此ノ如キ時ハ隣接大隊長ノ指揮ヲ受ケ射撃ヲ統一ナラシムルヲ要ス

隊長ハ此クノ如キ時ハ陣地變換ノ際ヲ利用シテ連繫ヲ復スルヲ要ス

連繫ニ關スル

志氣ヲ鼓舞スル爲メ砲兵ノ前進

砲兵ハ敵ノ小銃有効地界内ニ於テハ其威力歩兵ニ及バザルヲ以テ成ルベク小銃火ヲ蒙ラザル地界外ニ於テ砲兵固有ノ威力ヲ發揚スルヲ尤モ有利トスレド戦闘ノ決着ハ歩兵ニ因テラル、者ナレバ此決戦ノ際ハ歩兵ニ援助ヲ與ヘ歩兵ヲシテ猛烈ニ攻撃ヲ行ハシメザルベカラズ而シテ此歩兵ヲ援助スル爲メニハ砲兵現在ノ位置ニ於テ距離遠キカ或ハ彼我ヲ辨スルヲ難キ等ノ場合ニハ砲兵ハ假令ヒ損害ヲ蒙ルモ前進シ或ハ敵ノ側面ニ迫マリテ縦射シ敵ノ歩兵火ハ決シテ避忌スベキニアラズ

砲兵ハ近戦ニ於ケル敵ノ攻撃ニ對シ獨立力ヲ有セズ故ニ砲兵ノ陣地ハ他兵種ノ戦闘配備ニ由テ自然ニ掩護セラル、如クナルヲ要ス故ニ砲兵ニ特ニ掩護兵ヲ付スルヲ要セザルモ若シ敵ノ脅威ヲ受ケタル場合ニハ其近傍ニアル各部隊ハ命令ナクトモ之ヲ掩護スルノ義務ヲ有シ砲兵ハ他兵種ヨリ掩護セラル、ノ權利ヲ有スルモノトス

砲兵護衛ニ關スル

砲兵ハ素ク
ニ退却スベ
カラザルヲ

砲兵ハ陣地ノ骨幹ナリ砲兵ノ存否ハ志氣ヲ消長ス故ニ假令ヒ死傷アルモ彈藥缺乏スルモ決シテ砲兵ハ陣地ヲ撤スルヲ得ズヨシヤ砲兵ガ死傷若シクハ彈藥缺乏ノ爲メニ射撃スルコト能ハザル場合ニ於テモ砲兵其陣地ニアル以上ハ決戦ノ時機マデ兵力ヲ保存スル爲メ一時射撃ヲ中止シアルナラントノ感念ヲ敵ニ有セシムルヲ得レバナリ若シ一旦砲兵ニシテ陣地ヲ撤センカ陣地ノ基礎ヲ失ヒ我志氣ハ沮喪シ敵ノ志氣ハ増長ス砲兵ハ戦闘ノ犧牲トナリ砲煩ヲ敵ニ委スルハ反ツテ名譽トスル揚合多シ
砲兵ト歩兵ヲ重疊セル配備ヲ取ラザルハ尤モ希望スル所ナレドモ地形ニ由テハ正面ニ制限セラレ勢ヒ放列前ニ歩兵線ヲ成形スルコトナキニアラズ然ルトキ砲兵ハ歩兵ヲ超過シテ射撃セザルベカラズ固ヨリ砲彈ノ彈道ハ高キヲ以テ歩兵ヨリ四五百米ノ距離ヲ存スレバ危害ハナキモノナレドモ戰時急卒ノ場合ニハ如何ナル過誤アルヤモ知レズ故ニ此危險ヲ豫防スル爲メ超越射撃ハ殊ニ注意セシムルヲ要ス故

歩砲兵重層
射撃ノ件

側面警戒ノ
必要

茲ニ記スル
外ハ第一篇
砲兵戰闘要
領ノ條ヲ參
照スベシ
騎兵ノ戰闘
ニ於ケル要
件

ニ砲兵隊長ガ其危害ナキヲ確認スルトキニ限り我軍隊ヲ超越シテ射撃スルモノトス
砲兵ハ近戦ニ於テ獨立力ナキハ固ヨリナリト雖トモ然シ正面ナレバ霰彈ヲ以テナリトモ少シハ抵抗スルコトヲ得レトモ其側面ニ至ツテハ全ク威力ヲ顯ハス能ハス砲兵ノ弱點ハ側面ナリ故ニ急襲ノ虞アル異ノ中隊ハ常ニ監視斥候ヲ出シテ側面ヲ警戒スルハ定例ノ原則ナリ故ニ假令ヒ教示ナクトモ翼中隊ハ一ツノ任務トシテ此側面警戒ヲ怠ルベカラス

問 戦闘間騎兵隊長ノ各隊長ト保持スヘキ連絡、攻撃時機ノ獨斷、兵力保持、並ニ自己ノ位置スヘキ點等ニ關スル要件如何
答 是等ノ件ハ騎兵操典第三百十七ヨリ第三百十九ニ至ル條項中ニ

騎兵ノ獨斷

指示シアリ今其内ノ若干ヲ解説セシ

騎兵攻撃ノ時機ハ一瞬ニ往來スルコトハ毎ニ述ブル所ナリ此一瞬ノ時機ヲ逸スルナク能ク其機ニ投セントセバ狀況ヲ常ニ審ニシテ視察ヲ怠ラザルニアリ此狀況ヲ常ニ審ニスル爲メニハ直轄上官及ビ己レノ附近ニ在ツテ戰鬪スル部隊長ト成ル可ク絶ヘズ連繫ヲ保チ戰鬪ノ經過情況ヲ確知シアルヲ要ス而シテ荷モ其機ハ乘ズヘキアラバ直チニ獨斷事ニ當ルベシ特ニ總指揮官ガ騎兵ノ使用ニ就テ考フル所アリテ何分ノ命令ヲ待チ動作スベキノ訓示ヲ與ヘタル時ノ外ハ決シテ攻撃ノ命令ヲ待ツヲ要セズ徒ラニ命令ヲ待ツテ好機ヲ逸スルコトナキヲ要ス

視察ニ關スル

騎兵ハ時機ヲ看破スルニ英敏ニシテ好機ヲ逸セズ之レニ投ズルヲ以テ緊要無二ノ要求トス之レガ爲メニハ騎兵隊長タル者ハ常ニ視界ヲ廣クシ情況ヲ看察シツ、好機ノ至ルヲ窺ヒツ、アルヲ要ス是レガ爲

馬力保存ニ關スル

メ騎兵隊長ノ位置ハ地形敵狀及ビ戰場ヲ展望スルニ便ナル地點ナルヲ要ス若シ隊長ノ位置ヨリ若干ノ點ヲ視察シ得ザルカ或ハ特ニ必要ノ點ニハ數將校ヲ便利ナル監視地點ヘ派遣シ視察ヲ繼續セシメアルヲ要ス而シテ此監視將校ト隊長トノ交通聯絡ヲ確實ニ保持スルニ非ラザレハ此監視ノ効ハナキナリ蓋シ視察シタルコトヲ速ニ報告スレバコソ有効ナレ若シ其報告遅ク聯絡ナキハ何タル効力モナキコト明ナリ

戰鬪準備上ヨリ云ヘバ騎兵ハ常ニ乘馬シアルヲ最良トス然レトモ騎兵ニ於テハ馬力ヲ保存スルト云フコトハ恰モ他兵ガ彈藥ヲ節用スルニ同シク尤モ大切ノ事ナリ故ニ戰況未タ切迫セズ直チニ戰鬪ニ使用スルノ豫算ナキトキハ必要ノ休憩ヲ與ヘ無益過早ノ損失疲勞ヲ避ケルヲ要ス之ガ爲メニハ地形ヲ利用シテ敵ニ遮蔽シ且ツ所要ニ當ツテハ直チニ進出シ得ル場所ニ於テ休憩セシムルヲ要ス然レドモ騎兵ノ位置セル附近ニ於テ適當ノ地形モナク且ツ他ニ安全ナル休憩ヲナサ

有効射撃界ノ注意

シムベキ手段ナキトキハ現在ノ位置ヨリ後方ニ於テ地形ヲ攷定シ以テ成ルベク敵ノ有効射撃界外ニ位置シ損害ヲ受ケザル如クスルヲ要ス但シ此ニ注意スベキハ後方ニ位置スル爲メ急速必要ノ場合ニ當リ速ニ進出シテ戦闘ヲ爲サントスルモ距離ノ遠キ爲メ或ハ途中ニ障礙物アル等ノ故障ニヨリ好機ヲ失セザルニアリ

有効射撃界外トハ強ガチ距離ニ關セザルナリ近距離ニ於テモ地物障礙等ノ爲メ敵が放火ヲ逞フシ得ザル所ハ即チ有効射撃界外ナリ又距離遠キモ地物障礙ノ敵彈ヲ遮止スベキ者ナキ處ハ有効射撃界内ナリ

●九月四日午後一時半迄ニ於ケル情況

九月四日午後一時半迄ニ於ケル情況

○午前十一時三十分ヨリ正午零時ニ至ル間ニ於テ彼我互ニ兵力ヲ漸次展開シ劇烈ナル銃砲火ヲ交換ス

○敵ノ砲兵ハ山砲約十二門ニシテ午後零時三十分頃ニハ我砲火ノ威力ニ制壓セラレタル者ノ如ク漸次其砲火ノ衰フルヲ見ル

○午後零時過キ頃ヨリ公所村方向ニ當リ砲聲ノ起ルヲ聞ク

○午後零時三十分ニ於テ敵ノ展開セル歩兵ハ少クモ一聯隊ヲ下ラズ而シテ防禦工事ニ由テ掩護セラレアリ

問 旅團長ハ右ノ情況ニ於テ如何ニスルヤ

答 公所村方向ニ於ケル砲聲ハ左側支隊ガ開戦セシナラン而シテ左側支隊ハ劣勢ナル故早晩撃退セラレ此方面ニ於ケル敵ハ旅團ノ左側ニ向ツテ迫リ來ルナラン乃ハチ旅團長ハ左側ノ危險迫ラザルニ先チ前面ノ敵ヲ撃退シ更ニ左側ノ敵ニ向ツテ攻勢ヲ取り所謂各個撃破ノ戦法ヲ取ル爲メ前面ノ敵ニ對スル攻撃ハ益々迅速ナラシム

ルヲ要ス

抑々各個擊破ノ戰法ハ第二篇攻撃ノ條其六包圍ノ項ニ於テ内線作戰、
外線作戰ヲ述ブル際ニ於テ説ク所アリシ如ク多クハ戰畧上内線作戰
ニ於テ屢々用ユル所ノ者ナリ然レドモ戰術上一地區ノ戰鬪ニ於テモ
亦タ爲シ得ル限り各個擊破ノ方法ヲ探ルコトヲ勉メザルベカラズ夫
レ此方法ハ數ガ兵力ヲ分離シアル時ニ乘ジ我ハ全兵力ヲ繼メテ之レ
ヲ攻撃スルモノナルヲ以テ其有利ナルコトハ勿論ナリ而シテ我ニ有
利ナル丈ケ敵ニハ尤モ不利ナルコトハ理ノ當然ニシテ敵ハ極力我ヲ
シテ此戰法ヲ探ル能ハザラシムル如ク諸種ノ手段ヲ盡クスナラン此
ニ於テ我能ク彼ヲ制シ有利ニ此戰法ヲ探ラン爲メニ唯一ノ原則ハ運
動ヲ迅速ナラシムルニアルノミ若シ我ガ運動ニシテ緩慢ナランカ折
角分離シアル敵ノ兵力モ亦漸次集團シテ我ヲ合撃スベク遂ニ各個擊

破ヲナス能ハザルニ至ルベシ

今ヤ公所村方向ニ於ケル砲聲ハ果シテ何レノ地點ニ於テ會戰シアル
モノナルヤ不明ナレドモ我側方ヲ隔ツルコト著シク遠距離ニアラザ
ルコトハ明瞭ナリ然ラバ旅團ガ前面ノ敵ヲ擊破スル働作ニシテ遲延
センカ敵ハ先ヅ我ガ左側支隊ヲ破リ更ニ我側面ニ迫リ反ツテ敵ヲシ
テ各個擊破ノ利ヲ占ムルニ至ラシム故ニ旅團ハ全力ヲ注デ先ヅ速ニ
前面ノ敵ヲ擊破スルコトヲ勉メザルベカラズ
而シテ敵ハ防禦工事ニ據リアリ我近接ハ甚ダ困難ナリ然レドモ今ヤ
幸ヒニ敵ノ砲兵ハ衰微シツ、アリ故ニ我山砲ノミヲ以テ敵ノ砲兵ニ
對セシメ野砲ハ目標ヲ變換シ自今敵ノ歩兵並ニ其防禦工事ニ向ツテ
射撃セシムルヲ要ス

○午後零時三十分ヨリ野砲ハ敵ノ歩兵線ニ向ヒ、山砲ハ依然敵ノ山砲ニ對抗セシガ午後一時頃ニ至リ敵ノ砲兵ハ殆ンド沈黙シ敵ノ歩兵防禦工事ハ漸次破壊セラレ敵ノ歩兵ハ確々動搖ヲ始ムル如シ

○午後一時旅團長ハ左側支隊及ビ左翼ニ於ケル騎兵隊等ヨリノ報告ニ由テ左ノ情況ヲ知ル

左側支隊ハ國府本郷ヨリ公所村方向ニ運動セントスル敵ノ一縱隊(歩兵少クモ二三大隊及ヒ若干ノ砲兵ヲ有ス)ヲ繫留セン爲メ出細村附近ニ於テ劇烈ナル戦闘ヲ開キ爲メニ敵ノ縱隊ハ餘儀ナク北方ニ向フ運動ヲ中止シ我ガ左側支隊ニ對抗セシガ敵ハ甚ダ優勢ナル爲メ左側支隊ハ到底長時間之レヲ繫留スルコト難ク今ヤ漸次平塚方向ニ擊退セラレントスルノ景況ナリ
敵ノ騎兵約一中隊ハ矢崎村、城所村附近ニ出沒ス

問 旅團長ハ如何ニスルヤ

答 全線總攻撃ニ移ル

敵ノ砲兵ハ將ニ沈黙セントシ敵ノ歩兵モ稍ヤ動搖ノ徵ヲ呈スルハ是レ即チ攻撃準備ノ奏効、攻撃實施ノ時機到來セルヲ證スルモノナリ即ハチ此機ニ於テ旅團長ハ侵襲ノ譜ヲ奏シ全線總攻撃ヲ以テ一舉ニ敵陣ヲ拔クベキナリ

全線總攻撃ニ於テハ各部隊ノ動作區々トナラサルコトヲ注意シ各隊ハ攻撃目標ニ向ヒ協同一致決意勇進スルヲ要ス一旦全線ノ總攻撃ヲ始メタル後中途ニテ躊躇シ或ハ混雜ヲ起ス如キハ敵ニ逆襲ノ時機ヲ與フルモノニシテ殊ニ危険ナルモノナリ伊勢原附近ノ陣地ニ於テハ此危険ヲ特ニ慎マザルベカラズ蓋シ敵ノ陣地ハ前面ニ緩傾斜ヲ控ヘ充分之レヲ掃射シ得ル高地上ニアリ敵ハ我ヲ此高地斜面ニ引キ付ケ

全線總攻撃
攻撃實施ハ
時機

答二篇攻撃
ノ條其二參
照

此斜面ノ掃射下ヲ冒シテ登進スル際ニ乗シ一舉ニ大逆襲ヲ企ツルヤモ知ザレバナリ

○午後一時二十分全線總攻撃ニ移リ第一聯隊ハ田中村北方ヨリ高地ヲ攀登セントスルヤ高地上ヨリ劇烈ナル小銃火ニ制セラレ一時前進ヲ中止スルノ餘儀ナキニ至ル敵ハ將ニ逆襲ノ徵候ヲ現ハス

○陽攻ニ任ゼラレタル第一聯隊第三大隊ハ是レヨリ先キ漸次敵ノ右翼ニ向ツテ迫マリ今ヤ三福寺西北方附近ニテ敵ノ歩兵ト頗ル劇戰ヲナセリ

○敵ノ密集隊今ヤ神明祠東方ヨリ北方ニ向ツテ急行シツ、アリ此情況ヲ騎兵隊長ハ三福寺西南方附近ニ於テ砲兵隊長ハ砲兵陣地ニ在ツテ目撃ス

砲兵最後ハ
決戦砲撃

問 砲兵隊長ハ如何ニスルヤ

答 全砲火ヲ悉ク敵ノ歩兵殊ニ今將ニ急行シツ、アル密集部隊ニ向ツテ集注ス

今ヤ旅團攻撃ノ最大緊要ノ場合ナリ第一聯隊ハ敵ノ猛烈射撃ノ爲メ一時前進ヲ中止シ敵ハ逆襲ニ移ラントスルノ情況ナリ此場合ニ於テ我砲兵ハ最早敵ノ銃砲火ノ如キ毫モ顧ミル暇ナク全力ヲ以テ我歩兵前進ヲ援助スルヲ要ス所謂最後ノ決戦砲撃ナリ

問 旅團長ハ如何ニスルヤ

答 豫備隊ヲ以テ敵ノ逆襲ヲ防止ス

夫レ第一聯隊ハ敵ノ猛火ノ爲メニ攻撃前進スル能ハズ此ノ如ク攻撃

豫備隊ヲ以
テ敵ノ逆襲
ヲ防止ス

隊ガ躊躇シアル時ニ於テ敵ノ逆襲ヲ受クレバ我ハ失敗ニ陥ルコト無論ナリ即ハチ此場合ニ於テハ旅團長ハ最後ノ總豫備隊ヲ以テ敵ノ逆襲ニ對抗シ此危急ヲ救フノ外他ニ方策ナカルベシ實ニ指揮官ガ常ニ豫備隊ヲ撐握シアルヲ要スルハ此クノ如キ情況ニ遭遇スルコトアルヲ以テナリ

問 陽攻隊長并ニ騎兵隊長ハ如何ニスルヤ

答 敵ノ右翼ヲ擊破シ其左翼ニ於ケル敵ノ運動ヲ躊躇

セシムル爲メ猛烈ノ突進ヲナス

前陳ノ如ク旅團ハ今ヤ危急ノ場合ナリ此際ニ於テ諸隊長ハアラユル手段ヲ盡クシ旅團ノ目的ヲ達成スルヲ要ス殊ニ陽攻隊長ハ全力ヲ以テ敵ノ右翼ヲ牽制シ此影響効力ヲ以テ本攻方面ニ援助ヲ與フルハ必

陽動ハ効並ニ攻撃突進

然ノ任務トス然レドモ陽攻隊長ハ此以前ヨリ既ニ其正面ニ優勢ナル敵ヲ牽制シ劇戦ヲナシツ、アルコトナレバ此以上ハ最早獨力ヲ以テ何事モ爲シ能ハザルヘシ即ハチ最後ノ手段トシテ騎兵ト協力シ敵ノ右翼ニ向ヒ突進ヲ行ヒ陽動ノ効ニ由テ敵ノ退路ヲ危險ニ陥ラシムルノ痛痒ヲ敵ニ與フルヲ要ス
騎兵隊長モ亦タ同ジク今ハ萬事ヲ顧ミルニ暇アラズ旅團ノ危急ヲ救フ爲メニハ騎兵ヲ犠牲ニ供スルモ可ナリ即ハチ陽攻隊長ト協力シ先ヅ敵ノ右翼ヲ擊破シ此勢ヒニ乗ジ敵ノ退路ヲ脅カシ敵ヲシテ攻撃移轉ヲ思ヒ留ラシムルノ方策ニ出ヅヘキナリ

午後一時三

○午後一時三十分前後ニ於テ彼我ノ大衝突ハ田中村伊勢原附近ニ於

十分前後ニ
於ケル彼我
ノ大衝突

第二篇高地
戦ノ條参照

ケル地区ニ於テ演ゼラレタリ其情況左ノ如シ、

第一聯隊ガ田中村西北方ニ於テ敵ノ猛烈射撃ノ下ニ一時躊躇シタル機ニ乗ジ敵ハ我第一聯隊ニ向ヒ逆襲ヲ企テタリシガ我總豫備タル第二聯隊第二大隊ハ機ヲ失セズ第一聯隊ノ左翼ニ展開シテ敵ノ逆襲ヲ拒支スルコトニ盡力シ舊前衛部隊モ亦タ射撃ヲ以テ之レニ協力シ砲兵ハ全力ヲ舉ツテ高地上ニ於テ防禦工事ニ據ル敵ヲ砲撃シ彼我互ニ全力ヲ注ゲ今ヤ高地線端ノ争ヒ中ナリ敵ノ左翼ニ於テハ此クノ如キ激戰中敵ノ右翼ニ當リテハ大吶喊ノ叫聲湧クガ如ク起レリ是レ即ハチ陽攻隊長ハ敵ノ右翼前ヨリ騎兵隊長ハ敵ノ右側ヨリ同時ニ協同大突進ヲナシ敵ノ右翼ヲ蹂躪シタルナリ此クノ如クシテ敵ノ右翼ハ瓦解シ我騎兵隊ハ更ニ進ンデ側背ヨリ敵ノ左翼部隊ヲ脅威シ陽攻隊長ハ漸次攻撃前進

九月四日午
後二時ニ於
ケル情況

シテ敵ノ側面ヲ掃射シ之レガ爲メ敵ノ左翼部隊モ遂ニ動亂シ混雜ヲ以テ退却スルニ至レリ

●九月四日午後二時ニ於ケル情況

○旅團ハ伊勢原附近ノ戰鬪ニ於テ前陳ノ如ク劇烈ノ戰鬪ヲナセシガ幸ヒニ陽攻隊方面ノ勇散ナル突進ノ爲メ遂ニ全勝ヲ得ルニ至リ午後二時敵ハ非常ノ損害ヲ以テ神戸村方向ニ敗走セリ同時ニ我左側ニ派遣シアリシ斥候ヨリ左ノ報告アリ

一、敵ノ一縱隊(約歩兵一聯隊)公所村方向ヨリ矢崎村方向ニ急行シ來ル

二、我左側支隊ハ花水川左岸ニ擊退セラレタル者ノ如シ

○午後二時ニ於ケル曾屋街道ノ彼我ノ位置左ノ如シ

- 一、伊勢原附近ヨリ退却セル敵ハ歩兵約一聯隊ニシテ其一部ハ目下白根村附近ニ於テ敵ノ退却部隊ヲ收容シツ、アリ
- 二、敵砲ノ大部ハ破壊サレ又ハ我戦利品ニ歸シ無事ニ退却シ得タル者ハ三四門ニ過キズ
- 三、我歩兵第一聯隊(第三大隊欠ク)ハ伊勢原西端ニ於テ射撃ヲ以テ敵ヲ追撃シツ、アリ
- 四、爾他ノ歩兵部隊ハ伊勢原東方高地ニ集合中ナリ
- 五、砲兵ハ目下伊勢原高地ニ向ツテ陣地變換中ニシテ其一部ハ既ニ同高地ニ着シ敵ニ向ツテ追撃射撃ヲナシツ、アリ
- 六、騎兵ノ一部ハ申橋村方向ノ搜索ニ任ジ主力ハ馬渡村附近ニ在ツテ矢崎村方向ヲ搜索中ナリ
- 七、厚木渡場ニアリシ工兵中隊ハ若干ノ監視兵ヲ同所ニ殘シ旅團本

隊ニ復歸セリ

第十三問

追撃及遭遇戦ノ研究

第二篇追撃ノ條参照

戦、勝、ノ、結、果、ヲ、全、フ、ス、ル、ハ、追、撃、ニ、ア、リ、然、レ、ド、モ、遠、ク、追、撃、ヲ、ナ、ス、ニ、ハ、連、繫、秩、序、ヲ、正、シ、ク、整、頓、シ、更、ニ、編、成、シ、タ、ル、追、撃、隊、ヲ、以、テ、ス、ル、ヲ、要、ス、故、ニ、陣、地、奪、取、後、ハ、先、ヅ、其、外、端、ヨ、リ、射、撃、ヲ、以、テ、追、撃、ス、ル、ニ、留、メ、而、シ、テ、速、ニ、新、追、撃、隊、ヲ、派、遣、ス、ル、モ、ト、ス

神、戸、村、方、向、ニ、退、却、セ、シ、敵、ハ、其、隊、伍、ヲ、整、ヘ、ザ、ル、前、ニ、之、レ、ヲ、急、追、シ、成、ル、ベ、ク、善、波、峠、ノ、隘、路、ニ、壓、迫、ス、ル、ヲ、勉、メ、ザ、ル、可、カ、ラ、ズ、且、ツ、之、レ、ト、同、時、ニ、我、左、側、ニ、ハ、新、銳、ナ、ル、敵、ノ、迫、マ、リ、ツ、、ア、ル、ヲ、以、テ、是、レ、又、之、レ、ニ、對、ス、ル

敵ヲ急追スルヲ要スル場合

戦後追撃
ニ移ル時ノ
各別命令

ノ處置ヲナサザルベカラズ所謂前陳各個擊破ノ決心實行上今ヤ第二
ノ敵ニ對スル時ナリ而シテ此第二ノ敵ニ對スルニ當リ第一ノ敵ヲ速
ニ急追シテ善波峠ニ壓迫シ置カザレバ我右側ノ危険ヲ免ル能ハズ
此ニ於テ旅團長ハ尤モ迅速ニ追撃隊ヲ派遣スルト同時ニ直チニ第二
ノ敵ニ對スル處置ヲナスヲ要シ即ハチ快刀亂麻ヲ斷ツノ處置ヲ爲サ
ザルベカラズ
之レガ爲メ旅團長ハ次ノ如キ命令ヲ下スナリ而シテ此命令ハ目下急
速ヲ要スル場合ナレバ各別命令ヲ用ユ各別命令ヲ下スニハ命令實行
ニ要スル緩急及ビ受命者ニ傳達ノ便否等ヲ顧慮シ命令ノ實行急速ヲ
要スル者及ビ命令傳達ニ時間ヲ要スル者等ヨリ逐次ニ命令ヲ下スヲ
要ス

地形ノ許ス
限リ追撃ノ
爲メニハ速
度ノ早キ野
砲ヲ可トス

(第一)
步兵第二聯隊長及ビ砲兵第四中隊長ニ左ノ命令ヲ口達ス

混成第一旅團命令

九月四日午後二時
伊勢原高地ニ於テ

- 一、前面ノ敵ハ神戸村方向ニ退却ス
- 公所村方向ヨリ敵ノ一縱隊矢崎村ニ向ツテ急進シ來ル
- 二、旅團ハ矢崎村方向ノ敵ニ向ヒ更ニ前進セントス
- 三、步兵第二聯隊長ハ部下聯隊ノ一大隊及ビ砲兵第四中隊工兵一小隊
ヲ以テ速ニ前面ノ敵ヲ追撃シ少クモ善波村以西ニ擊退シ旅團ノ右
側ヲ掩護スベシ
- 四、騎兵ノ一部隊ハ目下三ノ宮村字孤ヨリ串橋村方向ニ前進中ノ筈ナ
リ此騎兵ハ第二聯隊長ノ指揮ニ屬ス
- 五、余ハ東大竹村ヲ經テ矢崎村ニ向ヒ前進ス

少將 某

(第二)

騎兵隊長ニ左ノ命令ヲ筆記シテ送達ス

混成第一旅團命令

九月四日午後二時五分
伊勢原高地ニ於テ

- 一、旅團ハ一部ヲ以テ神戸村方向ニ退却セル敵ヲ追撃シ主力ヲ以テ矢崎村方向ノ敵ニ向ツテ前進セントス
- 二、貴官ハ矢崎村方向ヨリスル敵ノ行進ヲ成ル可ク遲滯セシムルコトヲ勉メ前衛ノ到着ヲ待ツベシ
- 殊ニ大島、小峰村方向ヲ搜索スベシ
- 三、串橋村方向ニ派遣シタル騎兵部隊ハ自今歩兵第二聯隊長ノ(神戸村

騎兵隊長ハ敵狀ニ就テハ既ニ承知シアル故此ニ敵狀ヲ記セズ

- 村方向ノ追撃隊長)指揮ニ屬セシムベシ
- 四、余ハ東大竹村ヲ經テ矢崎村方向ニ前進ス

少將 某

(第三)

第二聯隊第二大隊長砲兵大隊長、工兵隊長、及ビ歩兵第一聯隊第三大隊長ハ最早此時間ニ整頓ヲ終リ伊勢原高地ニ集合シアラン故ニ左ノ命令ヲ口達ス

混成第一旅團命令

九月四日午後二時十分
伊勢原高地ニ於テ

- 一、前面ノ敵ハ神戸村方向ニ退却シ歩兵第二聯隊長大左某ハ此敵ヲ追撃ス

矢崎村方向ニハ歩兵約一聯隊ヨリナル敵ノ一縱隊急進シ來ル我騎
 兵部隊ハ之レガ前進ヲ拒支シツ、アリ

二、旅團ハ矢崎村方向ノ敵ニ向ツテ前進セントス

三、歩兵第二聯隊第二大隊長ハ部下大隊、砲兵第五中隊工兵中隊二分隊
 欠クヲ以テ前衛トナリ即時出發、馬渡村ヲ經テ矢崎村方向ノ敵ニ向
 ヒ前進スベシ

四、歩兵第一聯隊第三大隊砲兵第三大隊本部並ニ第六中隊ハ以上ノ順
 序ヲ以テ前衛ノ後方六百米ニ跟隨スベシ

五、余ハ前衛本隊ノ先頭ニ行進ス

少將 某

(第四)

副官ヲシテ在伊勢原西端歩兵第一聯隊長ニ左ノ命令ヲ口達セシム

混成第一旅團命令

九月四日午後二時十五分
伊勢原高地ニ於テ

- 一、約歩兵一聯隊ヨリナル敵ノ一縱隊矢崎村方向ニ急進シ來ル
 歩兵第二聯隊長ハ前面ノ敵ヲ追撃ス
- 二、旅團ハ矢崎村方向ノ敵ニ向ツテ前進セントス
- 三、歩兵第一聯隊(第三大隊欠ク)ハ伊勢原南端ニ於テ本隊行軍序列ニ入
 リ砲兵第六中隊ニ跟隨スベシ
- 第一聯隊長大佐某ハ旅團本隊ヲ引率シ前衛ノ後方六百米ニ跟隨ス
 ベシ
- 四、余ハ前衛本隊ノ先頭ニ行進ス

少將 某

(第五)

傳騎ヲ以テ左ノ命令ヲ衛生隊ニ送達セシム

混成第一旅團命令

九月四日午後二時二十分
伊勢原高地ニ於テ

- 一、伊勢原附近ノ敵ハ神戸村方向ニ退却ス
- 矢崎村方向ヨリ更ニ敵ノ一縱隊前進シ來ル
- 二、旅團ハ一部ヲ以テ神戸村方向ノ敵ヲ追撃セシメ主力ヲ以テ矢崎村方向ノ敵ニ向ツテ前進セントス
- 三、衛生隊ハ伊勢原ニ向ヒ前進スベシ
- 四、余ハ馬渡村ヲ經テ矢崎村ニ向ヒ前進ス

少將 某

九月四日午後二時四十分頃ニ於ケル情況

●九月四日午後二時四十分頃ニ於ケル情況

○騎兵隊ハ矢崎村、大間村等ノ地形ヲ利用シ歩々防戦シツ、敵ノ行進ヲ遲滯セシムルコトヲ勉メシガ敵ハ前衛歩兵ヲ展開シ漸次我騎兵ヲ壓迫シ午後二時四十分ニハ其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ西海地村法圓寺附近ニ達シ我騎兵ハ更ニ馬渡村南方ノ狹隘ヲ利用シ敵ヲ拒支セントセリ

○我前衛ハ騎兵ヲ支援シ馬渡村ヲ占領セリ間モナク敵ノ歩兵ト劇烈ナル放火ヲ交ユ

○午後二時四十分ニ於テ彼我ノ情況左ノ如シ

一、騎兵斥候ノ報告ニヨレバ敵ハ前衛ヲ以テ法圓寺ノ高地ニ達シタルノミニシテ本隊ハ今尙ホ矢崎村以南ニ於テ鈴川渡河ノ爲メ頗ル行進ヲ遲滯セラレツ、アリ

二、之レニ反シ我前衛ハ既ニ大部ヲ展開シ本隊ハ先頭ヲ以テ既ニ東大竹村南方八幡祠附近ニ達シアリ

問 右ノ情況ニ於テ旅團長ハ如何スルヤ

答 旅團長ハ敵ガ鈴川渡河ノ行進遲滯シツ、アルニ乘ジ遭遇戦ノ利ヲ占メン爲メ急劇ニ攻撃ヲ爲シ以テ敵ヲ再ビ法圓寺高地ヨリ其以南ノ平地ニ擊退セントス

問 然ラバ午後二時四十分ニ下ス旅團命令如何

答 遭遇戦ニ於テハ機先ヲ主トスルヲ以テ概ネ開進命令ト戦闘命令トハ同時ニ下スモノナリ而シテ諸下級指揮ハ一般展開ノ進歩ニ

關シ其連撃ヲ保持スルヲ度トシ獨斷事ニ從フコト緊要ナリ乃ハチ旅團長ハ左ノ如ク各別命令ヲ以テ諸隊ヲ會戰セシムルナラン而シテ其下令ノ順序ハ必要ノ遲速ニ從ツテ定ムルナリ

(第一)

副官チシテ本隊ニ左ノ命令ヲ傳ヘシム

- 一、諸隊ハ東大竹村南方標高52,0ノ西北ニ開進スヘシ
- 二、第一聯隊長及ビ第一聯隊第三大隊長ハ東大竹村南方八幡祠ニ來

(第二)

旅團長ハ敵ノ陣地ヲ偵察シタル後前衛司令官ニ左ノ命令ヲ口達ス

- 一、旅團ハ三ノ宮字孤方向ヨリ入山瀬村北方ニ向ヒ攻撃セントス
- 二、貴官ハ現在ノ地ヲ占領シ本隊ノ展開ヲ掩護スベシ
- 三、歩兵第一聯隊ノ二中隊ヲ後刻貴官ニ増加ス
- 四、工兵中隊ハ自今余ノ直轄トス東大竹村南方標高52.0附近ニ位置セシムベシ
- 五、余ハ東大竹村南方八幡祠ニアリ

少將 某

前衛司令官
及ビ砲兵隊
長ハ前面ノ
敵狀ヲ目撃
シアル故別
ニ命令文中
敵狀ヲ示ス
必要ナシ

(第三)

砲兵隊長ハ旅團長ニ隨行シアル故へ旅團長ハ砲兵隊長ト共ニ砲兵陣地偵察ヲナシ次ノ命令ヲ口達ス

- 一、旅團ハ三ノ宮字孤方向ヨリ入山瀬村北方ニ向ヒ攻撃セントス
- 二、貴官ハ東大竹村南方標高52.0附近ニ於テ法圓寺ノ高地並ニ入山瀬村北方附近ヲ射撃シ得ル如ク砲兵陣地ヲ占領スヘシ
- 三、余ハ東大竹村南方八幡祠ニアリ

少將 某

(第四)

旅團長ハ八幡祠ニ至リ第一聯隊長ニ左ノ命令ヲ口達ス

- 一、敵ハ法圓寺高地ヲ占領ス其後續團隊ノ大部ハ目下鈴川ノ渡河ノ

- 爲メ行進遲滯セラレツ、アリ
- 前衛ハ馬渡村及ヒ其東方高地ヲ占領ス
- 二、旅團ハ敵ヲ攻撃セントス
- 三、貴官ハ部下聯隊第一、第二大隊ヲ以テ三ノ宮村字孤東方ヲ經テ入山瀬村北方ニ向ヒ攻撃スヘシ
- 四、砲兵ハ東大竹村南方ニ陣地ヲ占メ貴官ノ攻撃ヲ援助ス
- 五、第一聯隊第三大隊ノ二中隊ハ即時馬渡村ニ至リ歩兵第二聯隊第二大隊長ノ指揮ニ屬セシムベシ
- 六、第一聯隊第三大隊(二中隊欠ク)ハ余ノ直轄ニ屬シ八幡祠南方ニ位置スベシ
- 七、余ハ八幡祠ニアリ

少將 某

(第五)

傳騎ヲシテ左ノ筆記命令ヲ衛生隊ニ傳達セシム

混成旅團命令

九月四日午後二時五十分
東大竹村南方八幡祠ニ於テ

- 一、敵ハ西海地村北方高地ヲ占領ス
- 二、旅團ハ敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃セントス
- 三、衛生隊ハ東大竹村北方附近ニ開設スヘシ
- 四、余ハ東大竹村南方八幡祠ニ在リ

少將 某

注意

開戦ニ當リ
高等指揮ノ
位置

砲兵ノ陣地進入ノ爲メ工事ヲ要スレバ工兵中隊ヲシテ之レヲ爲サ
シム
高等指揮官ハ紊リニ位置ヲ變ゼズ勉メテ交通便利、命令報告ノ授受
ニ便ナル位置ニアルコトヲ注意スベキナリ若シ一時其位置ヲ去ル
時ハ報告受領ノ爲メ必ラズ副官或ハ他ノ人員ヲ其地ニ殘留セシム
ルヲ要ス

命令下達ノ
注意

又戰鬪開始ニ當ツテ高等指揮官ハ自ラ敵狀偵察ヲナスハ尤モ必要
ナレモ此偵察ノ爲メ紊リニ本道附近ヲ遠ク離レテ輕舉奔走スル如
キハ注意スヘキナリ蓋シ此ノ如クナル時ハ高等指揮官ノ所在不
明トナリ容易ニ尋ネ當ラズ從ツテ戰鬪上ノ指揮並ニ活動ヲ緩慢ナ
ラシムル基ナリ
凡ソ命令ヲ下シ終ルノ遲速ハ大ニ其人ノ技倆ニアル者ニシテ指揮

官ハ何時何命令ヲ下シ何時ニ其命令ガ諸下級指揮官ニ由ツテ實行
セラル、ヤ等ヲ顧慮シ命令下達ノ順序、傳達ノ方法并ニ戰況ノ變化
等ヲ注意スルヲ要ス

師團本隊ノ情況

師團本隊ノ
情況

○第一師團長ハ混成第一旅團ヲ増加スル爲メ師團ノ殘餘ヲ以テ急ニ
相摸平原ニ進出スルノ任務ヲ受ケ九月三日午後ヨリ左ノ處置ヲナ
セリ

一、左ノ諸隊ハ右縱隊トシテ大山街道上ヨリ國分ニ向ヒ前進セシム

步兵第二旅團司令部

步兵第四聯隊

騎兵第一聯隊(一中隊ト三小隊欠ク)

砲兵第二大隊本隊并ニ第五中隊

工兵第二中隊(一小隊欠ク)

師團輜重

二、左ノ諸隊ハ左縦隊トシテ東海道鐵道ニヨリ戸塚ニ下車シ長後葛原

附近ニ集合セシム

師團司令部

歩兵第三聯隊

砲兵第一聯隊本部并ニ第一大隊

工兵第一大隊本部并ニ第三中隊

衛生隊二分ノ一

師團長ハ幕僚ト共ニ諸隊ニ先行シテ第一旅團長ノ許ニ至ラン爲メ
九月四日午後一時前早川附近ヲ行進中伊勢原方向ニ當リ劇烈ナル

砲聲ヲ聞ク

問 師團長ハ如何ニスルヤ

答 歩ヲ速メテ砲聲ノ方ニ急行ス

○九月四日午後一時頃左縦隊ハ全ク鐵道輸送ヲ終リ長後附近ニ集合
シアルヤ伊勢原方向ノ砲聲ハ甚ダ劇烈トナルヲ聞ク

問 左縦隊長ハ如何ニスルヤ

答 砲聲ニ向ツテ前進ス

抑師團長ハ九月四日ハ先ヅ諸隊ヲ馬入川左岸ニ集合シ敵狀ニ由テ之

砲聲ニ前進

レヲ適宜ニ使用スル考案ニテ左縦隊ノ如キモ長後附近ニ集合ヲ命ゼシナラン然ルニ今ヤ砲聲ノ劇烈ナルヲ以テ推察セバ前方ニ於テ劇戰ノ起リシヤ明ナリ此時ニ於テ左縦隊ガ安閑トシテ長後附近ニ集合シアルノ理由ナシ左縦隊長ハ獨斷ヲ以テ直ニ砲聲ニ向ツテ前進スルハ實ニ至當ナリ是レ即ハチ協同一致友軍ヲ救フノ至情ト云ハザルヲ得ズ宜ナル哉ナボレオンハ常ニ砲聲ニ前進ナル一言ヲ以テ協同連繫ヲ維持スルノ大綱トナセリ

●九月四日午後四時迄ニ於ケル情況

○西海地村附近ノ敵ハ若干ノ抵抗ノ後直チニ片岡村附近ニ退却シ同地附近ヲ堅固ニ占領ス

- 南金目村附近ニ敵ノ監視歩騎兵部隊アリ
- 我前衛ハ矢崎村ヲ占領シ本隊ハ入山瀬村附近ニアリ一部ヲ以テ大畑村ヲ占領ス
- 我騎兵ハ一旦飯島村附近マデ敵ヲ追撃シタルモ敵ノ爲メニ撃退セラレ北大繩村附近ニアリ
- 左側支隊ハ平塚ヲ占領シ花水川ヲ隔テ、凡ソ同等ノ敵兵ト相對ス
- 神戸村方向ニ進ミシ追撃隊ハ敵ヲ急追シ善波峠ヲ占領ス敵ハ會屋ニ退却ス
- 左縦隊ハ其先頭ヲ以テ下糟屋東端ニ達ス
- 右縦隊ハ本日長津市ケ尾間ニ(但シ騎兵ハ柏ヶ谷附近ニ)到着スル筈ナリ
- 師團長ハ午後四時入山瀬村ニ到着シ第一旅團長ト面會シ自今師團

長自ラ指揮ヲ取ル

第十四問

攻撃ノ目的ヲ以テスル片岡村、南金目村附近ノ地形判斷

判決

敵ノ陣地ハ堅固ニシテ其正面兩翼ヲ開ハズ白晝ハ攻撃スルモ無益ナリ須ラク夜暗ヲ利用シ真田村方向ヨリ南金目村ニ向ヒ攻撃スルヲ要ス

理由

矢崎村、大畑村附近ヨリ片岡村、南金目村附近ニ至ル地形ハ平坦開豁我運動ヲ掩護スベキ地物ナク加之敵ハ制高ノ利ヲ占メ有効ナル射界ヲ

攻撃ノ目的ヲ以テスル地形判斷

所謂夜暗ヲ利用シテ有効射程ニ接近スル場合

有ス而シテ敵ノ砲兵陣地ハ千須谷村北方標高^{54.4}附近或ハ片岡村南方高地附近ナラン之レニ對シ我砲兵陣地ヲ大畑村附近ノ高地ニ撰バンカ射距離遠クシテ我ハ攻撃ノ準備火戰ヲ有効ナラシムルコト能ハズ然ラバ大畑村以南平地ニ於テ有効射距離マデ前進シ放列陣地ヲ求メンカ敵ニ良目標ヲ與フルモノニシテ甚ダ不利ナリ

此開豁地ノ前進ハ敵ノ射擊下ニ在ツテハ到着爲シ難キ所ナリ若シ強テ之レヲ爲サントセバ兵力優勢ノ利ニ由テ強行スルノ外ナシ然ルニ今ヤ我兵力ハ所々ニ分離セラレアリテ現在ニ於テ片岡村、南金目村附近ノ陣地ニ向フベキ兵力ハ甚シク敵ヨリ優勢ヲ占メアリト云フ能ハズ殊ニ西海地附近ノ戰鬪ニ於テハ敵ハ敗走シタルニ非ラス云ハ僅少ノ戰鬪ヲ以テ隨意退却ヲナシタルナリ故ニ片岡村、南金目村附近ノ陣地ニ於テハ敵ハ地形ノ利ニ由テ頑強ノ抵抗ヲ爲スナラン然ル時ニ

於テ我ハ敵ヨリ瞰制セラレ全ク暴露シタル平地ヨリ之レニ對シ果シテ勝算アルヤ否ヤ
 或ハ又一步ヲ轉ジ大畑村ヨリ眞田村方向ニ迂回シ北金目村附近ノ高地ヨリ攻撃準備火戰ヲナシ一舉ニ南金目ニ迫ルノ策ヲ取ランカ白晝ニ於テハ此迂回運動ハ全ク敵ニ暴露シ會々以テ我ガ迂回ニ乗ジ有利ニ我退路ニ向ヒ逆襲スルノ好機ヲ敵ニ與フルニ過キズ
 故ニ片岡村、南金目村附近ノ陣地ヲ攻撃スル爲メニハ明拂曉夜暗ニ乗ジテ總テノ準備運動ヲナシ天明迄ニハ我有効射距離ニ前進シ天明ト共ニ猛烈果敢ニ攻撃スルノ外策ナカルベシ
 第一旅團ハ今朝來ノ戰鬪ニテ彈藥ノ費消モ多ク之レヲ補給スルノ必要モアリ且ツ兵力分離シアル故一先ヅ師團ノ兵力ヲ集結整頓シ更ニ攻撃ノ準備ヲナスノ必要アリ又地形上ヨリ觀察スルニモ第一旅團ガ

現在ノ線ヲ占領シアレバ敵ハ容易ニ前進ヲ企圖シ能ハザルベク即ハチ之レヨリ以上尙ホ敵ヲ急速ニ攻撃スルノ必要ナク須ラク今日ハ先ヅ現在ノ地ヲ占領シテ爾後ノ準備ヲ整頓シ明拂曉ヨリ更ニ攻撃動作ニ移ルヲ可トス

乃ハチ明拂曉眞田村方向ヨリ南金目村ニ向ヒ攻撃ヲ實施スルトキハ地形上左ノ利益アリ

- 一、天明前ナルヲ以テ眞田村方向ニ迂回スル運動ヲ敵ニ暴露スルコトナシ
- 二、大畑村附近ヨリハ我レガ攻撃シ難キ丈ケ敵モ容易ニ此方面ニ突進スルコト難ク比較的小部隊ヲ以テ此方向ヲ拒支シ多クノ兵ヲ攻撃點ノ方向ニ用ユルヲ得
- 三、眞田村、北金目村附近ノ高地ハ攻撃準備ヲナスニ便ナリ

- 四、北金目村附近ヨリスル攻撃前進ハ大畑村附近ヨリスル者ニ比シ距離短ク損害ヲ蒙ルコト少シ
- 五、一旦南金目ヲ占領セバ直チニ敵ノ退却ヲ脅威スルノ利アリ以上ノ理由ヲ實行スル爲メ左ノ處置ヲナス
- 一、混成第一旅團ノ諸隊ハ現在ノ地ヲ占領シ同地附近ニ宿營セシム
- 二、左縱隊ハ東大竹村、馬渡村附近ニ宿營セシム
- 三、工兵ヲシテ丸島村ヨリ真田村ニ至ル交通路ノ修理ヲナサシム
- 四、彈藥縱列ヲ招致シ彈藥ノ補給ヲナス
- 五、右縱隊ハ明日早朝出發急行成ルベク師團ノ戰鬪ニ參與セシム

戰鬪後ニ於
テナスベキ
件

- 右ノ地形判斷ニ由テ師團長ノ決心ハ定マレリ
前面ノ敵狀ニ於テハ午後四時以後モ變化ナク互ニ戰疲レテにらみ合ひの姿勢ナリ
- 乃ハチ師團長ハ本日ノ戰鬪ヲ中止シ前陳地形判斷中ノ處置ニ示ス如ク明拂曉ノ攻撃ニ係ル諸準備ヲナスナリ
- 之レガ爲メ師團長ノ考慮スベキ件ハ左ノ如シ
- 其一、戰鬪後ニ於ケル部隊連繫ノ恢復整頓
 - 其二、戰鬪後彈藥ノ補充
 - 其三、戰鬪後ノ給養
 - 其四、戰鬪後ノ宿營法
 - 其五、明日ニ係ル攻撃ノ諸準備

戦後ニ於ケル部隊連繋ノ恢復整頓

以下右ノ諸件ヲ逐次詳述セン

● 其一二 就キ (戦後ニ於ケル部隊連繋ノ恢復整頓)

今朝來連續ノ戦闘、追撃等ノ爲メニ部隊ハ随分分離混淆シアリ殊ニ目下師團ノ兵力ハ所々ニ分離シアリ更ニ攻撃セントスルニセヨ又防禦スルニセヨ何レニカ兵力ヲ纏メ混淆ヲ復舊シ團結ヲ恢復セザルベカラズ是レ戦後ニ於テハ尤モ必要ナルコトナリ而シテ地形上師團長ハ真田村方向ヨリ本攻ヲ爲スニ決シタルヲ以テ明日此方向ニ兵力ヲ使用スルニ便ナル如ク集團連繋ヲ恢復スルヲ要ス之レガ爲メニハ左縦隊ヲ東大竹村西部及ビ馬渡村附近ニ宿營セシムルヲ可トス又真田村方向ヨリ本攻ヲ行フニ就テハ大畑村、矢崎村方向ハ堅固ニ之レヲ占領シ退路ノ掩護ヲナサシメザルベカラズ之レガ爲メニ現在此附近ニアル部隊ヲ其儘明日モ亦此地ニ殘シ置クヲ可トス殊ニ敵前ニ

戦後ニ於ケル部隊連繋ノ恢復整頓

其一二 就キ (戦後ニ於ケル部隊連繋ノ恢復整頓)

於テ部隊ヲ交代運動セシムルハ不可ナリ故ニ現在ノ第一線部隊ハ直チニ前哨タラシメ此掩護ニ由テ混成第一旅團ノ諸隊ハ入山瀬村附近ニ於テ整頓シ其連繋ヲ恢復スルヲ可トス若シ第一線ニ於ケル部隊ノ混淆ヲ恢復スル爲メ交代運動等ノ必要アレバ敵目ヲ遮蔽スル爲メ夜ニ入りテ是等ノ運動ヲナサシムベシ

今朝來ノ戦闘ノ爲メ彈藥ハ殆ンド消費シタルナラン彈藥ヲ補充スルハ以後ノ戦闘ヲ繼續スルニ尤モ急務トスル所ナリ

第一篇彈藥補充ノ項ニ於テ概畧ノ原則ハ説明シ置キタレモ今ヤ此場合ニ於ケル應用戰術ヲ研究スル序ヲ以テ後方勤務ニ屬スル彈藥補充ノ件ヲ若干詳述セントス然レモ後方勤務ニ屬スル件及ビ師團編重編

成ニ關スル件ハ機密ニ關スルコト多キヲ以テ悉ク之ヲ詳説スル能ハズ實ニ遺憾トスル所ナレモ幸ニ諒セラレヨ

〔此ニ次ニ給養ノ件ニ就テ説述スル所アルモ亦タ機密ノ爲メ詳説ヲ制限セザルヲ得ザルヲ以テ併セテ茲ニ一言シ置ク〕

携帶彈藥ハ小行李(砲兵ニ在ツテハ段列)ヨリ小行李ハ縱列ヨリ補充セラルル縱列ヨリ後方補充所ハ野戰兵器廠(野戰軍ト野戰兵器廠トノ距離遠キハ中間ニ中間廠ヲ設ク)及ビ兵器支廠、兵器本廠等トス
普通ノ場合ニ於テハ右ノ順序ニ依テ後方ヨリ逐次補充セラルト雖モ特別ノ場合ニ於テハ此補充ノ順序ヲ變換スルヲ得(例令ハ兵器本廠ヨリ支廠ヲ經ズシテ直ニ野戰兵器廠ニ補充スルガ如シ)然ルモ直ニ之ヲ通報スベシ

野戰兵器廠ハ通常兵站主地ニ支廠ハ内地ノ要塞或ハ集積所ニアリ兵站彈藥縱列ハ野戰兵器廠ヨリ野戰隊ノ彈藥縱列ニ補充スル機關ニ在リ若シ之ナキ時ハ縱列ハ直ニ野戰兵器廠ニ至リ補充ヲ受クルモ

縦列ヲ分ツ
テ一枝隊ニ
屬スルハ

ノトス

野戰隊ニ屬スル彈藥縱列ハ他ノ輜重ト合スルト否トニ關ハラズ二梯隊ニ別ツモノトス第一梯隊ハ常ニ戰鬪部隊ニ跟隨シ直接ニ補給ヲナシ第二梯隊ハ遠ク後方ニ在リテ第一梯隊ヲ補給シ或ハ之ト交代シ又或ル場合ニハ野戰兵器廠ヨリスル彈藥補給補助ヲナスコトアリ
縦列ヲ梯隊ニ分ツ法ハ一定スルコトナシ情況ト時機ニ因テ師團長之レヲ定ム而シテ彈藥大隊長ハ通常第一梯隊ニ在リテ他ノ輜重ヲ合スルモハ乃ハチ輜重第一梯隊長トナルモノナリ

師團司令部ニ在テハ佐官參謀ハ彈藥縱列ノ件ニ就テ專任ス
縦列ヲ割テ一枝隊長ニ屬スルハ萬已ムヲ得ザル時ニ限ル蓋シ縦列ヲ分ツキハ其分遣スル所ノ縦列ノ補充ハ甚ダ困難ナレバナリ何トナレバ分遣縦列ハ通常策線ヨリ遠隔スルモノナリ然ルニ野戰兵器廠ハ通常策線上ニ在ルヲ以テ自然遠隔交通不便トナレハナリ若シ已ムヲ得ズ彈藥縱列ノ一部ヲ獨立枝隊ニ屬シ分遣スルトキハ其大小ニ關セズ

縦列ヲ戰闘
部隊ノ方ニ
招致スルハ
距離

空、縦列ノ補
充

必ラズ將校ヲ屬ス此將校ハ其率ユル分遣縦列ノ補充ニ就テハ派遣前
彈藥大隊長ヨリ訓令ヲ受ケルモノトス假令ハ戰列隊ニ補給ヲナシタ
ル後ハ野戰兵器廠ヨリ補充ヲ受ケルカ或ハ第二梯隊ヨリ補給ヲ受ケ
ルカ等ナリ
彈藥ノ補給ハ通常戰闘後ニ爲スト雖モ又時トシテハ戰闘中ニ之レヲ
爲スコトアリ然ルハ縦列ハ戰線ヨリ二、三、四、五、六、七、八、九、十、
ノ距離ニ招致セラルル
レヨリ以内ニ招致セラルルハ非常特異ノ場合ニ限ル
戰列隊ニ彈藥ヲ補給スルニ就テ師團長ハ何地何時ニ於テ何隊ニ補充
スベキヤヲ命ジ縦列ハ其指定ノ場所ニ於テ各隊ニ認識ヲ容易ナラシ
ムル爲メ標旗ヲ樹テ置ケテ可トス
空虛トナリタル彈藥縦列補充ニ就テハ彈藥大隊長ガ師團兵ヨリ豫メ
受ケ居ル所ノ訓令ニ基キ獨斷ヲ以テ之ヲ爲ス第一梯隊ノ彈藥縦列ヲ
補充スルニハ一小隊分ノ彈藥空虛トナリタル時補充スルヲ準繩トス
此空虛トナリタル小隊ハ補充ヲ受ケベキ所ニ至リ補充ヲ受ケタル後

ハ第二梯隊ニ在ルナリ而シテ第一梯隊ノ二分ノ一以上空虛トナリ以
テ補充ヲ受ケタル場合ニハ其補充セラレタル縦列ハ直チニ第一梯隊
ニ歸リ來ルカ或ハ是ガ交代トシテ新ニ第二梯隊ヨリ直ニ若干縦列ヲ
第一梯隊ニ派遣スルナリ
彈藥大隊中ノ二分一以上空虛トナリタルトキハ野戰兵器廠ヨリ補充
ヲ受ケルモノトス彈藥大隊長ハ其補充ヲ受ケン爲メ赴ク所ノ將校ニ
位置、經路等ヲ命令ス
前進行ニ於テハ野戰兵器廠ト漸次遠隔スルヲ以テ補充ヲ受ケタル後
ハ強行軍ヲ以テ復歸スルコト屢々之レアリ此補給ニ任セラレタルモ
ノハ常ニ彈藥大隊長ト連絡ヲ要スルヲ以テ途中毎夜ノ宿營地ハ之レ
ヲ報告スルヲ要ス此等ノ便宜ノ爲メニハ兵站地ニ宿營スルヲ可トス
戰闘開始ニ當ツテ彈藥大隊長ハ直ニ傳令使ヲ師團長ノ下ニ派シ縦列
停止ノ位置ヲ報告シ而シテ此傳令使ハ師團長ヨリ命令或ハ訓令アル
迄ハ復歸セズシテ師團長ノ許ニアルヲ要ス縦列ノ開進地ハ道路ノ側

縦列ノ宿營

方ニシテ進出ニ容易ナルヲ要ス狹隘ヲ前ニ控ユル如キハ不可ナリ
 戰鬪部隊勝利ヲ得テ前進スルトキ或ハ不利ニシテ續々密集部隊退却
 シ來ル時ノ如キハ縦列ハ命令ヲ受ケサルモ前進シ或ハ退却ス
 縦列ハ宿營スルニ當ツテハ概ネ成シ得ル限リ宿舎給養ヲ常トス否ラ
 ザレハ微發給養ヲ用ユ又外衛兵ハ設ケズ風紀衛兵ヲ以テ足レリトス
 但シ特別ニ警戒ヲ要スルトキハ此限リニ非ラズ
 警急集合所ハ馬繫所ヲ以テ之ニ充ルヲ常トス
 露營スルトキハ其要スル地幅ノ標準左ノ如シ

步兵彈藥縱列 正面二百米
 深サ二百二十米

砲兵彈藥縱列 正面二百米
 深サ百七十米

注意 糧食縱列ノ空車輛及馬匹ハ他ノ目的ニ使用シ得レトモ彈藥縱列ノ空車輛
 及ビ馬匹ハ彈藥ノ爲メニスルノ外他ノ目的ニ使用スルヲ許サズ

以上ハ彈藥縱列ニ關スル一般ノ講述ヲナセシモノニシテ乃ハチ九月
 四日戰鬪後ニ於テ彈藥補充ヲナス爲メ師團長ハ彈藥縱列ノ分配ノ時
 刻、地點ヲ定メ各隊ニ命令セハ各隊ハ小行李ノ駄馬ヲ以テ分配地ニ至
 リ補充ヲ受クルナラン而シテ第一梯隊ニアル者ハ三分一縦列ノミナ
 レバ此三分一縦列ハ步兵ハ一大隊分砲兵ハ一中隊分ヲ補充シ得ルニ
 過ギズ即ハチ補充額不足ナル如シト雖トモ凡ソ戰鬪ニ於テ各隊一樣
 ニ悉ク彈藥ヲ費消スル者ニアラズ前衛ノ如キハ戰鬪時間長ク從ツテ
 費消額モ多カラナレドモ豫備隊ニ在リシ者ノ如キハ是レニ反シテ
 費消額纔カナル如シ故ニ先ヅ三分一縦列分丈ケ補充シ置ケバ爾後ノ
 戰鬪ヲ繼續スルニ差支ヘナカルベシ
 補充ヲ終リタル空縦列ハ直チニ第二梯隊ニ返シテ後方ヨリ補給ヲ受

分配所指定

ケシメ又第二梯隊ヨリハ更ニ三分一縦列ヲ第一梯隊ニ派遣セシメザルベカラズ
分配所ヲ撰定スルニハ交通便利、認識ニ容易ナル所ヲ可トス而シテ各隊ヨリ補充ヲ受ケニ來リタル小行李ノ集会所ト縦列ノ集会所トヲ別々ニ設ケザレバ甚シキ混雜ヲ爲スヲ以テ場所ノ廣キヲ要スル者ナリ又各隊補充ヲ受クルノ順序ヲ定メザレバ彼此先キヲ争ヒ混雜ヲ生スルナリ

●其二ニ就キ(野團後給養)

九月四日戦闘後ニ於ケル給養ニ就テハ如何ニスベキカ宿營給養ハ戦闘ノ爲メ土民逃亡存在セザルヲ以テ到底爲シ能ハズ携帶糧秣ヲ使用セシメンカ未ダ此法ヲ爲ス程ノ情况ニアラズ縦列ノ糧食ヲ用ヒンカ

戦後ノ給養

是亦成ルベク縦列ハ使用スルヲ好マザル所ナリ然ラバ徵發給養ヲナサンカ此戰場附近ニテ官憲徵發ハ容易ニ行ヒ難ク各部隊ヲシテ部隊徵發ヲナサシメントセハ敵前ニ於テ警備ヲ害スルノ恐レアリ右ノ如ク考察シ來レバ各種給養法中何レニシテモ満足ナル能ハズ然ラバ此場合ニ於テ如何スベキカ

問 師團監督部長ノ給養ニ關スル意見具申
答 左ノ如シ

- 一、各部隊ハ先ヅ大行李ノ糧秣ヲ使用シ速ニ兵隊ヲ給養スルヲ要ス
- 二、此大行李補充ハ左ノ如ク諸種給養法ヲ併用ス
- イ、在平塚部隊ノ爲メニハ糧食縦列ノ一部ヲ萩園ニ進メ同地ニ

師團監督部長ノ給養ニ關スル意見具申

テ補充ス而シテ糧食縦列ノ補充ハ上和田、下鶴間附近ヨリ購買ヲナス

ロ、其他ノ諸隊ハ徵發ヲ以テス之レガ爲メ監督部員ヲシテ成シ得ル限リ厚木附近ニ於テ官憲徵發ヲナサシメ又第一線ニアラザル第二線軍隊中ヨリ徵發隊ヲ編成シ伊勢原、下糟屋村、沼目村、馬渡村間ノ地區ニ於テ部隊徵發ヲナサシメ是等ノ所得物資ハ伊勢原附近ニ集收シテ分配ス

三、此分配ハ夜遅クニアラザレバ爲シ能ハザルベシ故ニ大行李ハ伊勢原附近ニ宿營シアラシメ物資收集次第直チニ分配所ニ至リ得ルノ便ヲ計ルヲ要ス

輜重梯隊ニ就テ

梯隊ノ跟隨距離

輜重梯隊ノ事ニ就キ序ヲ以テ左ニ一言セン

師團輜重ハ戦闘上ノ顧慮ナキトキハ各部隊毎ニ運動セシム是レ給養並ニ統帥上便利ナレバナリ然レトモ戦闘ノ顧慮アルトキハ第一第二梯隊ニ分チ旅次行軍ノ時ハ師團ノ後尾ヨリ一日行程ヲ隔テ、跟隨セシム

第一梯隊長ハ彈藥大隊長、第二梯隊長ハ輜重兵大隊長ニシテ此梯隊長ハ必ラズ梯隊ノ先頭ニアルヲ要ス是レ師團長ノ命令ヲ速ニ受領スルニ便ナラン爲ナリ即ハチ師團長ハ常ニ其先頭ニ向ツテ命令ヲ送達スルヲ常トス

第一梯隊ハ大行李ノ後尾ヨリ三千米、第二梯隊ハ第一梯隊ノ後尾ヨリ四千米乃至五千米ヲ以テ跟隨ス時宜ニ由リ此跟隨距離ヲ延長スルトキト雖モ師團本隊ノ後尾ヨリ第一梯隊ノ先頭マテ半日行程、第二梯隊ノ先頭マテ一日行程ヲ超ユベカラズ是レ補充給養共ニ不便ナレバナリ退却ノトキハ前記距離ヨリ尙ホ遠ク距離ヲ存スルコトアリ此最大

梯隊ノ宿營

限ハ師團長ガ其當日宿營スベキ地點ヨリ第一梯隊ハ半日行程第二梯隊ハ一日行程以上遠ザカルベカラズ即ハチ行進中ハ此以上ノ距離ニ遠ザカリアルモ宿營スル時ニ至ラバ常ニ前記最大限以内ノ距離ニアル如クスルヲ可トス

梯隊ノ宿營ハ道路ニ沿フテ行軍隊形ヲ以テ投宿スルヲ原則トス然レドモ若シ沿道ニ人家ナク宿營シ能ハザル時ハ道路外左右ノ村落ニ宿營スルコトアリ然ルトキハ道路ヨリ最大限四千米ヲ超ユベカラズ道路ニ沿フテ宿營スル時第一梯隊ノ先頭ヨリ第二梯隊ノ先頭マテハ二里乃至三里ノ間ニ變化ス

輜重梯隊ハ何レノ場合ニ於テモ舍營スルヲ常トス然レトモ人家ナキトキハ已ムヲ得ズ露營ス又給養ハ成ル限リ宿舍給養或ハ徵發ニ依リ携行糧秣ヲ用ヒザルモノトス

梯隊ヲ途中一時駐止セシムルトキハ途上縱隊ノ儘ナルヲ普通トス退却ノトキ道路之ヲ許セバ輜重ヲ分ツテ數多ノ平行路ヲ取りテ行進

梯隊ノ退却

セシムルヲ可トス是レ輜重ハ些少ノ障礙アルモ直チニ通過シ得ズ行進ヲ滯留セシムルヲ以テ是等ノ害ヲ減セン爲メナリ

時トシテ彈藥縱列、架橋縱列、野戰病院ノ如キ戰團ニ必要ヲ感ズル者ハ其一部ヲ大行李ノ先頭或ハ本隊ノ後尾ニ置クコトアリ

第一梯隊ニアル縱列、病院等ヲ戰列隊ノ方ニ招致シタルトキハ第一梯隊長ハ之ヲ第二梯隊長ニ通報ス第二梯隊長ハ之レガ補充ヲ第一梯隊長ニナスノ義務アリ

戰團後ノ宿營法

●其四ニ就キ(戰團後ノ宿營法)

戰團後ノ前哨ニ二様アリ一ツハ彼我交戦シツ、日歿ノ爲メ已ムヲ得ズ戰團ヲ中止シタル時ニシテ互ニ近ク相接觸シアル場合、一ツハ彼我戰團ヲ交ヘツ、接觸シアラザルモ直チニ交鋒シ得ベキ距離ニ於テ相對峙スルナリ甲ハ所謂戰團準備隊形ヲ以テ全隊露營シテ夜ヲ徹スル

モノニシテ乙ハ戰闘配備ノ隊勢ニ在ルモ最前線ニ於テ嚴重ノ前哨ヲ
配布スルヲ以テ足り第二線部隊ハ時宜ニヨリ村落露營ヲナサシム
九月四日夜ニ於ケル宿營法ハ即ハチ前記乙ノ場合ニ適シ即ハチ各隊
ハ村落露營若クハ露營ヲナシ最前線ニ於テ嚴重ナル前哨ヲ配布シ其
他ハ各地ニ就テ適宜ノ前哨ヲ設ケシム而テ各隊ノ配布ニ就テハ明日
ニ係ル攻撃運動ノ便否ヲ計ルト同時ニ亦成ルベク敵前ニ於テ部隊ヲ
彼此移動セシメザルコトヲ願慮セザルベカラズ

●其五ニ就キ(明日ニ係ル攻
撃ノ諸準備)

明拂曉ニ係ル攻撃ノ部署ヲ精細ニ定メンニハ先ヅ成シ得ル限り敵狀
ヲ搜索スルニ在リ之レガ爲メニハ騎兵ヲ使用スルト第一線兵ノ監視
ヲ注意周到ナラシムルニアリ(歩兵騎兵將校斥候尤モ必要ナル場合ナ

明日ニ係ル
攻撃ノ諸準備

リ)即ハチ歩兵將校斥候ハ夜間潜行ニ由テ敵狀搜索ヲナスベク騎兵將
校斥候ハ馬足ヲ利用シ遠ク迂回シテ敵ノ側面ヲ窺フベシ此等ノ將校
斥候ノ使用巧ミナレバ案外有益ノ情報得ラル、コトアルベシ
次ギニ攻撃進路ノ偵察ヲ必要トス鈴川、金目川ハ徒涉シ得ルト雖モ砲
兵ノ爲メニハ必ラズヤ進路ヲ修補セザルベカラズ且ツ丸島村ヨリ眞
田村ニ至ル間ニモ成ルベク多クノ交通路ヲ設クルヲ要ス之レガ爲メ
ニハ工兵ヲシテ河川道路ノ偵察、補修之レニ要スル材料ノ徵發等ヲナ
サシメザルベカラズ又歩兵ヲモ使用シ工兵ノ補助ニ供スルヲ可トス
以上其一ヨリ其五ニ至ル説述ノ如キ考案ヲ以テ師團
長ハ午後四時ヨリ逐次左ノ如キ處置ヲナスナラン

戦後ノ命令並ニ處置

輜重ニ與フル特別命令

(第一、第二ノ如ク番號ヲ附スルハ師團長ガ處置ヲナス順序ナリ)

(第一)

監督部長ニ給養ニ關スル糧食徵集ヲ命令ス

(第二)

彈藥縱列ヨリ兼テ師團長ノ許ニ派遣シアル傳令使ヲシテ左ノ命令ヲ持チ歸ラシム

(輜重ニ與フル命令)

第一師團命令

九月四日午後四時
四海地村法圓寺ニ於テ

- 一、敵ハ會屋及ビ千須谷村附近ニ退却ス
- 二、師團ハ東大竹村及ビ其附近ニ宿營セントス

空縱列ハ本道ヲ塞ガザル爲メ本道外ニ宿營セシメ且ツ明日第二梯隊ト衝突セシメザルコトヲ願フ

三、輜重第一梯隊ノ彈藥縱列ハ午後九時迄ニ伊勢原東方高地ニ前進シ

彈藥ノ分配ヲナスベシ

但シ步兵彈藥ハ伊勢原東南端砲兵彈藥ハ田中村西方ニ於テ分配スベシ

補充終リタル空縱列ハ池端村ニ至リ露營スベシ

四、輜重第二梯隊ハ上和田、早川間ニ宿營スベシ

但シ一部ヲ明日午前三時迄ニ萩園ニ前進セシメ在平塚步兵第二

聯隊第三大隊ニ彈藥及ビ糧秣ノ補充ヲナスベシ

五、余ハ馬渡村ニ宿營ス

中將 某

(第三)

左ノ命令ハ一人ノ傳騎ヲシテ傳達セシム

(大行李ニ與フル命令)

第一師團命令

九月四日午後四時五分
西海地村法圓寺ニ於テ

- 一、師團ハ東大竹村及ビ其附近ニ宿營セントス
- 二、大行李ハ伊勢原ニ向ツテ前進スベシ
- 三、余ハ馬渡村ニ宿營ス

中將 某

此命令ハ唯ダ大行李ニ前進ヲ命ズルニ留マリ精細ノ命令ハ大行李前進シ來リタル時副官ヲ遣ハシ傳達セシメ且ツ大行李ヲ各隊ニ分配セシム

(右縱隊長ニ與フル訓令)

第一師團訓令

九月四日午後四時五分
西海地村法圓寺ニ於テ

- 一、敵ハ本日戰鬪ノ後退却シテ會屋、千須谷村附近ヲ守備ス
善波峠ハ歩兵一大隊、砲兵一中隊ヲ以テ占領セシメタリ
- 二、師團ハ東大竹村及ビ其附近ニ宿營シ明拂曉真田村方向ヨリ千須谷村附近ノ敵ヲ攻撃セントス
- 三、明日千須谷村附近ニ對スル攻撃中會屋方向ノ敵ヨリ右側ヲ脅威セラル、カ或ハ千須谷村附近ノ敵ガ矢崎村方向ニ向ツテ逆襲ニ轉スルカノ二點ニ付キ余ハ掛念ナキヲ得ス此等ノ場合ニ應スルハ一ツニ貴官ノ任務トス之レガ爲メ貴官ハ明日成ル可ク速ニ伊勢原附近ニ前進シ殊ニ騎兵ヲ以テ飯島村方向ノ警戒ニ任ゼシムルハ余ノ尤

モ希望スル所ナリ
四、余ハ馬渡村ニ宿營ス

中將 某

(第四)

左ノ訓令ハ傳騎ヲシテ傳達セシム

(善波峠支隊長ニ與フル訓令)

第一師團訓令

九月四日午後四時十分
四海地村法圓寺ニ於テ

- 一、敵ハ千須谷村ニ退却ス
- 二、師團ハ東大竹村及ビ其附近ニ宿營シ明拂曉真田村方向ヨリ南金目村ニ向ツテ攻撃セントス

明日善波峠
附近ノ戰闘
ハ地形上山
砲ヲ必要ト
ス故ニ戰砲
中隊ト交換
ス

三、貴官ハ善波峠ヨリ弘法山ニ亘ル間ヲ堅固ニ占領シ曾屋附近ノ敵ニ對シ師團ノ右側ヲ掩護安全ナラシムベキ任務ヲ有ス

步兵第二旅團長ノ帥ユル一枝隊ハ明日多分九時頃マデニハ伊勢原附近ニ達スル筈ニシテ貴官ハ必要ノ場合ニ際シテハ該枝隊ニ向ツテ應援ヲ請求スルコトヲ得

貴官ノ指揮下ニアル野砲中隊ハ明朝午前四時マデニ馬渡村ニ復歸セシムベシ此交代トシテ同時迄ニ山砲中隊ヲ貴官ノ許ニ至ラシム

四、彈藥ノ補充ハ本日午後九時ヨリ左ノ場所ニ於テ分配ス

- 步兵彈藥ハ 伊勢原東南端
- 砲兵彈藥ハ 田中村西方

五、給養ハ徵發給養トス

午後十二時伊勢原東方ニ於テ糧秣分配ヲナス

六余ハ馬渡村ニ宿營ス

中將 某

(第五)

左ノ命令ハ傳騎ヲシテ傳達セシム

(東海道支隊長ニ與フル命令)

第一師團命令

九月四日午後四時十五分
西海地村法圓寺ニ於テ

- 一、敵ハ曾屋及千須谷村附近ニ退却ス
- 二、師團ハ東大竹村及ビ其附近ニ宿營シ明拂曉千須谷村附近ノ敵ヲ攻撃セントス
- 三、貴官ハ東海道方面ヨリ敵ノ右側背ヲ脅威シ已ムヲ得ザル場合ニハ

東海道上ヲ退却シ馬入川ニ據テ敵ヲ拒支スベシ

四、給養ハ大行李ノ糧秣ヲ用エベシ

明日午前三時ヨリ萩園ニ於テ縦列ヨリ糧秣ノ補充ヲ受クベシ

同時同所ニ於テ彈藥ノ補充ヲ受クベシ

五、余ハ馬渡村ニ宿營ス

中將 某

(第六)

左ノ命令ハ西海地村、大畑村、矢崎村附近ニアル諸隊ノ命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム而シテ左縦隊長及ビ在北大繩村騎兵隊長ニハ筆記シテ傳騎ヲ以テ送達ス

(諸隊ニ與フル合同命令)

第一師團命令

九月四日午後四時二十分
西海地村法圓寺ニ於テ

- 一、敵ハ南金目村ヨリ片岡村ニ亘ル線ヲ占領ス
我善波峠支隊ハ善波峠ヨリ弘法山ニ亘ル線ヲ占領ス
- 二、帥團ハ戰鬪ヲ中止シ東大竹村及ビ其附近ニ宿營セントス
- 三、步兵第一旅團長ハ步兵第一聯隊及ビ步兵第二聯隊第一大隊ヲ以テ
其主力ハ入山瀬村附近ニ宿營シ大畑村ヨリ矢崎村ニ亘ル線ヲ占領
シ千須谷村方向ニ對シ警戒スベシ
- 四、爾餘ノ諸隊ハ左ノ如ク村落露營スベシ
- 騎兵第一中隊 大向村
- 騎兵第二中隊

監督部長ヨ
リ物資徵發
ノ最況ニ關
スル報告ヲ
受クサレハ
物資徵發ノ
時間未定ナ

- 砲兵第一聯隊第二大隊(欠ク)馬渡村
- 步兵第三聯隊 三ノ宮村字狐
西部東大竹村
- 工兵第一大隊 丸島村
- 衛生隊 伊勢原
- 步兵第三聯隊ヨリ特ニ一部隊ヲ丸島村西北端附近ニ出シ字堀方向
ニ對シ警戒セシムベシ
- 警急大集合所ハ入山瀬村西北方高地トス
- 五、以上諸隊ノ運動ハ日没ヲ持チ敵ニ蔭蔽スルヲ要ス
- 六、步兵隊ハ伊勢原東南端ニ於テ、砲兵隊ハ田中村西方ニ於テ建制順序
ヲ以テ午後九時ヨリ彈藥ノ補充ヲ受クベシ
- 七、徵發給養トス
- 糧秣ハ後刻伊勢原東方ニ於テ分配ス、分配時刻ハ後ニ下令ス

ル故分配時
刻ハ更ニ命
令ス
大行李ハ戰
闘部隊ノ不
時ノ變ニ際
シ妨害トナ
ラザル爲メ
炊爨後ハ伊
勢原ニ至ラ
シム

大行李ハ炊爨ヲ終レバ伊勢原ニ至リ村落露營ヲナスベシ
八、輜重第一梯隊ハ補充ヲ終レバ池端村ニ至リ、同第二梯隊ハ上和田早
川間ニ宿營スベシ
九、余ハ馬渡村ニアリ
午後九時命令受領者ヲ出セ

中將 某

(第七)

工兵大隊長ニ訓令ヲ與ヘ丸島村、三ノ宮村字狐附近ヨリ眞田村ニ至ル
間ニ成ルヘク多クノ交通路ヲ修設セシム

(第八)

歩騎兵部隊ヨリ將校ヲ撰援シ敵狀視察ノ爲メ師團長自ラ訓令ヲ與ヘ
潜行斥候トシテ派遣ス

● 九月四日夜ニ於ケル情況

九月四日夜
ニ於ケル情
況
糧食炊爨ハ
一例

各隊ハ所命ノ如ク宿營ニ就キ先ヅ大行李ノ糧秣ヲ炊爨セリ而シテ第
一線部隊ノ者ハ後方ニ於テ之ヲ炊爨シテ送附シ以テ敵ニ炊火ヲ秘シ
且ツ第一線ノ操擾ヲ避ケタリ
此夜ニ於ケル前哨ハ殆ンド砲兵ノ射距離ニ於テ相對スルヲ以テ嚴重
ナル前哨ヲ配布セザルベカラズ
乃ハチ第一線部隊ハ全然露營シ鈴川ノ線ニ於テ殆ンド一連ノ歩哨ヲ
配布シ其後方ニハ小哨、前哨中隊、前哨本隊等相梯次シ互ニ密ニ連繫ヲ

敵ニ近キ嚴
重ナル前哨

保持シ嚴重ノ警備ヲナシアリ第二線部隊ハ村落露營ニアルモ戦闘準備ハ毫モ怠ル所ナシ要務令ニ前哨司令官ハ戦闘緩急ノ度ヲ規定スト云ヘル其警戒ノ程度ハ此場合ニ於テハ最モ嚴重ナルヲ要スルモノトス此場合ヨリ更ニ寸歩ヲ進メバ全然戦闘準備隊形乃ハチ戦闘前哨トナル譯ナリ故ニ此場合ニ於ケル前哨ト戦闘前哨トハ其間ノ差異ハ實ニ僅少ナル空隙ヲ餘スノミ

師團長ハ此夜不確實ナガラ或ハ敵ガ鐵道輸送ヲナストカ或ハ箱根山脈ヲ敵ノ大縱隊ガ通過スルトカ情報ニ接シタルヲ以テ成ルベク敵ノ集合ニ先ダチ前面ノ敵ヲ速ニ擊退セント欲シ午後九時此決心ニ基キ明日ニ係ル諸命令ヲ下セリ

作戰九月五日

●九月五日午前七時ニ於ケル情況

師團ハ九月五日拂曉ヨリ南金目村ニ向ツテ攻撃ヲ開始セシガ敵ノ兵力ハ昨夜ヨリ頗ル増加セシ者ノ如ク師團ハ全力ヲ注テ奮戦スルモ其攻撃ハ豫想ノ如ク抄取ラザルノミナラズ敵ヨリ反ツテ攻勢ニ轉ゼラル、ヤノ景況ニ至ル

午前七時ニ於テハ其概況左ノ如シ

敵方ノ情況

- 一、南金目村、片岡村附近ニハ少クモ歩兵約一聯隊以上ヲ現ハセリ
- 二、南金目村南方及ビ千須谷村北方ニハ砲兵約三中隊ヲ現ハセリ

九月七日午
前七時ニ於
ケル情況

- 三、上大槻村附近ニハ歩兵約二大隊、砲兵一中隊アリ
- 四、飯島村附近ニハ優勢ナル騎兵集團アリ

我方ノ情況

- 一、北金目村附近ニハ歩兵第一聯隊(第三大隊欠ク)及ビ砲兵第一大隊及ビ第五中隊アリ
- 二、大畑村附近ニハ歩兵第二聯隊第二大隊及ビ砲兵第四中隊、工兵第一中隊(二分隊欠ク)アリ
- 三、南矢名村字宿西方附近ニハ歩兵第三聯隊(第三大隊欠ク)アリ
- 四、南矢名村字宿ノ東北方附近ニハ歩兵第一聯隊第三大隊、歩兵第三聯隊第三大隊、工兵第三中隊アリ
- 五、北大繩村附近ニハ騎兵約五小隊アリ

六、衛生隊二分一ハ三ノ宮字狐附近ニ、二分ノ一ハ真田村地方天徳寺附近ニアリ

右ノ如キ情況ニ於テ彼我鬪戰中師團長ハ善波峠支隊ヨリ午前六時三十分善波峠發ノ報告ヲ受領ス其要旨左ノ如シ

曾屋附近ノ敵ハ新銳ナル増加兵ヲ得タル者ノ如ク午前六時頃ヨリ攻撃前進ヲ始メ目下支隊ハ約一聯隊ノ敵ニ對シ善波峠ヲ固守シツ、アリ。

又兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ曾屋村字齊ヶ分方向ニ迂回スル者ノ如シ

右報告ヲ閱續シ終ルト同時ニ曾屋村守齊ヶ分附近ニ派遣シアリシ騎

兵斥候ヨリ左ノ急報ニ接ス
敵ノ歩兵約二大隊ハ會屋方面ヨリ前進シ來リ其先頭ハ既ニ字齊ケ
分ニ進入セリ

是レト同時ニ上大槻村附近ノ敵ハ射撃ヲ漸次劇烈ナラシム

右縦隊長ヨリ左ノ報告到達ス

右縦隊ハ本日午前三時出發セリ遅クモ午前九時迄ニハ急行伊勢原
附近ニ達スル考ヘナリ

退却前ニ爲
ス逆襲

問 師團長ハ以上ノ情況ニ於テ如何ナル決心ヲナスヤ
答 字齊ケ分ニ現ハレタル敵ニ向ヒ猛烈ニ逆襲ヲ行ヒ此間ニ乗ジテ
退却ス而シテ此退却ハ右縦隊ヲシテ收容セシム

師團ハ今ヤ尤モ困難ノ境遇ニ陥レリ即ハチ前面ノ敵ハ容易ニ擊退シ
得ズ而シテ時間ヲ經ルニ從ヒ善波峠ハ優勢ナル敵ノ爲メ固守スル能
ハザルベク然ル時ハ我退路ハ忽チ危險ニ陥ルベシ加之字齊ケ分ヨリ
ハ直接師團ノ右翼ヲ壓迫セラレツ、アリ
此ノ際ニ於テ師團ハ退却セントスルモ尋常ノ手段ニテハ到底目的ヲ
達シ難ク反ツテ潰亂死地ニ陥ルベシ蓋シ正面並ニ右翼ニ於テ現時ノ
如ク敵ト接觸シアルトキニ於テ一旦師團ガ背ヲ敵ニ向ケナバ敵ハ全
線我ニ尾シテ我ヲ殲滅ニ陥ラシムルナラン凡ソ安全ニ退却ヲ爲スノ
要訣ハ速カニ敵ノ觸接ヲ免ル、ニアリ此ノ觸接ヲ免レン爲メ現時ノ
情況ニ於テハ一部ヲ犠牲ニ供スル非常手段即ハチ逆襲ニ依ルノ外ナ
シ
此逆襲ニ由ツテ一時敵ニ打撃ヲ與ヘ敵ノ躊躇シタル瞬間ニ於テ退却

逆襲ノ時機

スベキナリ

尋常ノ場合ニ於テ逆襲ノ時機ヲ撰定スベキ原則左ノ如シ

- 一、敵ノ隊伍棄ル、ハハ
 - 二、防者ノ抵抗ニ依テ攻者ノ兵力疲勞スルハハ
 - 三、攻者將サニ侵襲ヲ行ハントスル瞬間ニ乘ジ一舉ニ敵ノ側面ニ迫リ得ルハハ
 - 四、攻者ノ攻撃中我近距離射撃ノ下ニ敵兵一時躊躇スルハハ
 - 五、攻者兵力ヲ分離シタルニ乘ジ有利ノ地ニ於テ不意ノ逆襲ヲ行ヒ得ルハハ
 - 六、敵兵遇度ニ正面ヲ擴張シタル時ニ乘ジ其中央ヲ突破スルハハ
- 現時ノ情況ニ於テハ非常ノ場合ニシテ到底満足ナル逆襲時機ノ到來ヲ待ツコト能ハズ時間ヲ經ル丈ケソレ丈ケ危険ハ近ヅクヲ以テ此場合ニ於テ師團長ハ左ノ如ク決心處置スルヲ要ス

九月五日午
前七時三十
分ニ於ケル
情況

- 一、歩兵第三聯隊ヲシテ上大槻村附近ノ敵ニ對シ發揚シ得ベキ最大限ノ火力ヲ以テ正面ヲ掩護セシメ總豫備隊ノ二大隊ハ之レヲ犧牲ニ供スルノ覺悟ヲ以テ字齊ケ分方向ノ敵ニ向ヒ猛烈ノ逆襲ヲナサシム
- 二、野砲大隊ハ正面ヲ西方ニ變換シ逆襲ヲ援助セシム

●九月五日午前七時三十分ニ於ケル情況

師團ノ逆襲ハ幸運ヲ以テ奏功シ字齊ケ分ヨリ前進セル敵ハ尾尻村方向ニ退却ス
上大槻村附近ヨリモ敵ノ歩兵約一大隊金目川ヲ超ヘテ字宮下ニ向ヒ

突進ヲ企テシガ我猛烈射撃ノ爲メ且ツ字齊ケ分方面ノ敵ガ脆クモ敗退シタルトノ爲メ是又遂ニ失敗ヲ以テ舊陣地ニ退却セリ之レガ爲メ敵ハ今ヤ慎重ノ態度ヲ取リ一時決戦攻撃ヲ猶豫シタルモノ、如シ師團長ハ今ヤ我右翼ニ切迫シタル危険ヲ一先ヅ排除シタルヲ以テ此際ニ乗ジ退却ヲ部署シ持久防禦ニ適スル地形ヲ撰ビ之レニ據テ敵ヲ拒支シ軍ノ進出ヲ掩護スルニ決ス

騎兵第一聯隊(一中隊ト三小隊欠ク)ハ此時北大繩村附近ニ到着ス

第十五問

持久防禦ノ目的ヲ以テスル陣地判斷

判決

持久防禦ノ目的ヲ以テスル陣地判斷

愛名村南方高地ヨリ舟子村西北方附近ニ亘ル陣地ヲ占領スルヲ要ス

理由

敵ハ漸次増加スル者ノ如ク今ヤ我ハ攻撃ヲ斷念シ唯ダ地形ノ利ヲ占メ持久戦ヲ以テ軍ノ進出ヲ掩護セザルベカラズ之レガ爲メニ何レノ陣地ヲ撰定センカ伊勢原附近ノ陣地ハ良好ナレドモ現在ノ戰場ヨリ距離近キニ失シ師團ノ如キ大部隊ガ不利ノ形勢ニ在ツテ退却スル際ニ於テ到底此陣地ニ再ビ停止スルコトハ能ハザルベク尙ホ遠ク退却シ敵ト一先ヅ接觸ヲ離レタル後ニアラザレバ隊勢ヲ整ヘ陣地ヲ占領スルノ猶豫ヲ得ズ

愛名村南方高地ヨリ舟子西北方附近ニ亘ル陣地ハ左ノ利益ヲ有シ目下ノ場合ニ於テ採用スベキモノトス

一、伊勢原附近ニ於テスル後衛ノ掩護ニ由テ陣地占領ヲ容易ナラシム

二、敵ガ岡津古久ノ方向ニ進ミ來レバ其隘路進出ヲ撃ツ

三、敵ガ愛甲岡田方向ニ進ムニ當リテハ我ハ側面陣ノ姿勢ヲ以テ其側面ヲ制シ得

四、軍ガ厚木以北ヨリ馬入ヲ渡河スルヲ充分掩護スルヲ得

乃ハチ此陣地ヲ占ムレバ敵ハ容易ニ厚木附近ニ於テ渡河シ能ハサルベク而シテ我ヲ攻撃スルニハ岡津古久ノ隘路ヨリスルカ或ハ側面ヲ我ニ現ハシテ舟子方向ニ來ルノ外ナシ敵若シ非常ニ優勢ニシテ遂ニ此陣地ヲ保持スル能ハザル場合ニ於テモ逐次敵ヲ北方ニ牽制シツ、上依智方向ニ退却セバ敵ハ我ヲ側面ニ置キ容易ニ馬入川ヲ超ヘ東進スル能ハザルベシ但シ我ハ是等ノ場合ヲ顧慮シ退路ハ上依智方面ニ

變換スルヲ要ス

陣地各部ニ於ケル地形ノ利害判斷ハ左ノ如シ

前地、陣地前ニ綿亘セル水田ハ敵ノ運動ヲ妨害遅緩ナラシメ又愛甲附近ハ充分之レヲ展望シ得又敵ガ陣地前ノ高地斜面ヲ攀登スル場合ニ於テ此斜面ハ良好ノ攻勢地帯ナリ

正面、正面ニ於ケル森林ハ所々射界ノ妨害トナル所アリト雖モ之レハ若干ノ工事ヲ以テ清掃シ得ベク全般ニ於テハ反ツテ據點トナリ或ハ陣地内部ヲ遮蔽シテ有利ナリ又一般ニ制高ノ利ヲ占メ正面ノ幅員ハ兵力ニ相當セリ唯ダ正面中所々ニ水田ノ灣入部アリテ斷絶ヲ成形スレドモ此部ハ兩側ヨリ十字火ヲ以テ制シ得ル故甚ダシク弱點トナラズ

兩翼、

高松山標高^{126,3}ヨリ南方ニ走ル凸線ハ右翼ノ據點トナリ舟子村

西北方標高71ノ高地ハ左翼ノ據點トナリ即ハチ右翼ノ據點ハ岡津古久隘路ヲ有利ニ制シ左翼ノ據點ハ愛甲附近ヨリ舟子村ニ亘ル一帯ヲ制シ兩翼共ニ敵ハ容易ニ迂回シ能ハズ

側地、右側ハ大山ノ山脈ノ爲メ左側ハ一連ノ水田ノ爲メ敵ハ容易ニ近接シ能ハズ

内地、地内ハ地形多少錯雜ニシテ運動稍々困難ナレトモ敵眼ニ對シテハ充分ニ遮蔽セラレ且ツ敵方ニ反對スル斜面ニ豫備隊ヲ置キ得ルヲ以テ殊ニ安全ナリトス

後地、温水村ヨリ西北ニ亘レル水田ハ運動ノ障礙ヲ爲セドモ數條ノ道路アル故之レヲ若干修理セバ此不利ヲ償フヲ得ベシ而シテ此水田ノ北岸タル高地線(恩名村ヨリ西北ニ亘ル高地線)ハ退却ノ際第二ノ抵抗線トナルナリ

師團長ハ右判斷ニ由テ愛名村附近ニ退却スルニ決シ之レニ關スル退却部署ヲナスナリ

第十六問

九月五日午前七時四十分ヨリ施行スル師團ノ退却方法

九月五日午後七時四十分ニ於ケル師團長ノ處置ハ第二篇退却ノ條ニ於テ説キシ如ク大部隊ノ退却方法ノ原則ニ從ヒ戰場直接收容隊ハ三方面ニ於テセサルベカラズ善波峠方面、北金目村方面、及ビ大畑村方面是レナリ

九月五日午前七時三十分ヨリ施行スル師團ノ退却方法
第二篇退却ノ條参照

此三方面ノ退却ニ當リ善波峠、大畑村兩方面ハ敵ガ直チニ我退路ヲ脅威スヘキ進路ナルヲ以テ北金目村方面ノ我部隊ガ字堀及ヒ丸島村附近マデ退却スル間頑強ニ敵ヲ拒支シ且ツ大畑村附近ノ我部隊ハ北金目村方面ヲ追撃スル敵ニ對シ其側面ヲ制スルヲ要ス乃ハチ北金目村附近ノ我部隊ハ先ヅ戰場直接收容隊ヲ字堀附近ニ派遣シテ收容ニ任ゼシメ大畑村、善波峠方面ハ東大竹村、善波村附近ニ各收容隊ヲ派遣シ北金目方面ノ我部隊ガ丸島村北方附近ニ退却シタル時期ヨリ各退却ヲ始ム而シテ此等ノ各收容隊ハ更ニ伊勢原附近ニ於テ右縦隊ニ收容セラレ此掩護ニ由テ師團ハ愛名村、温水村附近ニ退却ス而シテ右縦隊ハ後衛トナリテ漸次退却ス

戰場直接ノ收容陣地ハ戰線ヨリ砲兵射距離内ニアリテ戰線ニ切迫スル敵ニ砲火ヲ以テ對向スルヲ要スト雖戰場外ノ收容ニ在ツテハ敵ノ

追撃ノ景況ニモ關スレモ強チ戰線ニ直接砲彈ヲ送り得ベキ距離ニアルヲ要セズ各方向ノ部隊ヲ一纏メニ集攬結合スルニ便ナル如ク陣地ヲ占領ス伊勢原附近ハ善波村、字堀、丸島村、東大竹村等ノ各方面ヨリ退却シタル部隊及ビ各收容隊ヲ其後方ニ集結スルニ適當スル者ナル如シ

凡ソ敵ト近ク相接シタル交戰部隊ヲ退却セシムルニ當リ戰場ニ於テハ到底退却ノ方向及ビ隊伍ヲ整へ得ベキ者ニアラズ唯ダ交戰部隊ニ概畧ノ目標ヲ示シ各交戰部隊ハ戰線ト直角ニ小單位毎ニ殆ンド各個ニ退却シ收容隊ノ後方ニ於テ始メテ隊伍ヲ整へ得ベキモノトス故ニ北金目村、大畑村方向等何レモ戰場直接收容隊ノ後方ニ退却スルマデハ殆ンド散亂ノ有様ヲ以テ退却シ來ルナラン隊長ハ此收容隊ノ掩護ニ由テ始メテ隊伍ヲ整へ更ニ伊勢原ニ向ヒ退却シ同地ニ至リ再ビ掩

護ヲ受ケテ完全ニ整頓スルヲ得ベシ
抑々退却中ノ尤モ困難ナル者ハ右ノ如キ場合ナリ若シ未ダ敵ト肉接
セザルニ先チ隨意退却ヲ行フ如キハ第一線部隊ヲ其儘暫時停止セシ
メテ本隊ノ退却ヲ掩護シ後チ後衛トナリテ退却セシムレバ可ナリト
雖ドモ否ラズシテ敵ノ觸接近ク且ツ急ナル丈ケソレ丈ケ退却ノ區署
ハ紛雜困難トナリ指揮官ノ敏腕果斷ヲ要スルコト益切ナリ

以上ノ要旨ニ從ヒ九月五日午前七時四十分ニ下スベ
キ師團命令ハ左ノ如クナルベシ
此場合ニ於ケル命令ハ迅速尤モ簡單ナルヲ要スルモノトス
左ノ命令ハ副官ヲシテ口達セシム

九月五日午
前七時四十
分ニ於ケル
師團退却命
令

戰後退却
ニ移ル時ノ
各別命令

（第一聯隊長ヘ口達）

第一師團命令

九月五日午前七時四十分
北金目神祠ニ於テ

- 一、師團ハ愛名村附近ニ背進セントス
- 二、大佐某第一聯隊長ハ部下第三大隊、砲兵第六中隊、工兵第三中隊ヲ以テ即時宇堀附近ニ至リ收容陣地ヲ占領スベシ
- 三、余ハ後刻貴官ノ許ニ至ル

中將 某

（第三聯隊長ヘ口達）

第一師團命令 全 上

- 一、善波時方面ニハ敵兵約一聯隊ノ攻撃ヲ受ケアリ

- 二、師團ハ愛名村附近ニ背進セントス
- 三、貴官ハ部下大隊ヲ以テ即時善波峠ニ急進シ同地附近ニアル第二聯隊長ノ指揮ニ屬スベシ
- 四、余ハ落幡村ヲ經テ伊勢原ニ向ヒ背進ス

中將 某

左ノ訓令及ビ命令ハ筆記シテ至急ヲ以テ傳騎ニ由テ送達セララル

(第二聯隊長へ)

第一師團訓令 上

- 一、師團ハ愛名村附近ニ背進セントス

二、貴官ノ増援トシテ第一聯隊第三大隊ヲ只今派遣セリ

貴官ハ成ルベク敵ヲ永ク隘路内ニ扼止シ少クモ午前八時半以前ニ於テ敵ヲ坪ノ内村以東ニ進出セシメズ以テ師團ノ側面ヲ安全ナラシムベシ

三、少將某ノ帥ユル右縱隊ハ午前九時迄ニハ伊勢原ニ到着スル豫定ナリ

貴官ハ坪ノ内村附近ニ退却後ハ同隊ノ援助ヲ受クルコトヲ得ベシ

中將 某

(第二聯隊第二大隊長へ)

第一師團命令

九月五日午前七時五十分
北金目神祠ニ於テ

- 一、師團ハ愛名村附近ニ背進セントス
- 某少將ノ帥ユル右縦隊ハ午前九時伊勢原ニ到着スル筈ナリ
- 二、貴官ハ師團ノ最後尾ガ丸島村及ビ宇堀以北ニ背進スル時期マデ現陣地ヲ固守シ然ル後伊勢原ニ向ツテ背進スベシ
- 三、貴官ノ背進ニ當リテハ伊勢原附近ニ到着スル右縦隊ノ援助ヲ受クルコトヲ得ベシ
- 四、諸報告ハ伊勢原ニ向ヒ發送スベシ

中將 某

騎兵聯隊長

第一師團命令

九月五日午前七時五十分
北金目神祠ニ於テ

騎兵聯隊長
ハ獨斷ノ處
置テ要スル
多キヲ以
テ特ニ第一
項ニ於テ師
團ノ目的ヲ
精示ス

- 一、師團ハ某少將ノ帥ユル右縦隊ト合シ更ニ敵ヲ拒支スル目的ヲ以テ愛名附近ニ背進セントス
- 二、貴官ハ師團ノ左側ヲ警戒シ已ムヲ得ザルハ愛甲方向ニ退却スベシ
- 三、諸報告ハ伊勢原ニ向ヒ發送スベシ

中將 某

左ノ訓令ハ參謀ヲシテ口達セシム其理由ハ第二旅團長ト互ニ情況ヲ審ニスル爲メナリ
此參謀ハ訓令傳達後ハ伊勢原附近ニ在ツテ師團長ノ到ルヲ待ツ而シ

テ該時マデ諸方ヨリ到着スル報告ヲ受領スルニ任ズ

(右縦隊長へ)

第一師團訓令

九月五日午前七時五十分
北金目神祠ニ於テ

一、師團ハ早朝來北金目村及ビ大畑村附近ノ陣地ニ於テ劇烈ナル戦闘
中ナリ又善波峠守備ニ任ゼル支隊ハ約歩兵一聯隊ノ敵ニ壓迫セラ
レアリ

二、師團ハ即時愛名村附近ノ陣地ニ退却シ貴官ト合シテ更ニ敵ヲ拒支
セントス

三、貴官ハ伊勢原附近ノ陣地ヲ占領シ師團ノ退却ヲ收容スルヲ要ス殊
ニ一部隊ヲ速ニ坪ノ内村附近ニ差遣シ善波峠方面ヨリ退却スル部
隊ヲ收容シ且ツ之レト協力セシメ以テ師團ノ右側背ヲ安全ナラシ

ムルヲ要ス又大畑村附近ニアル部隊ノ退却ヲ容易ナラシムル爲メ
一部隊ヲ以テ東大竹村附近ヲ占領スルハ尤モ緊要ナリ
四、余ハ後刻貴官ノ許ニ到ル

中將 某

右縦隊長へ與フル訓令ヲ送達スル參謀ニ傳騎三名ヲ附シ衛生隊ニハ
途上ニ於テ大行李ニハ伊勢原到着後左ノ命令ヲ傳ヘシム

(衛生隊へ)

一、師團ハ愛名村附近ニ背進セントス
二、衛生隊ハ即時愛名村ニ退却スヘシ已ムヲ得ザレバ所要ノ衛生員ヲ

殘シ傷者ヲ赤十字條約ノ保護ニ委スベシ
三、諸報告ハ伊勢原ニ向ヒ發送スベシ

中將某

(大行李へ)

- 一、同前
- 二、大行李ハ三田村西南方字新宿ニ至リ停止シアルベシ
- 三、諸報告ハ伊勢原ニ向ヒ發送スベシ

中將某

師團長ハ右ノ如キ要旨ヲ參謀ニ命ゼバ參謀ハ夫レノ命令ヲ調整シ
各部隊長ニ傳達ス
而シテ北金目附近ニアル交戦部隊ニハ適當ノ時機到ルヲ待ツテ命令
ヲ傳フ之レガ爲メニハ北金目神祠ノ高地ヨリ周到ニ敵狀ヲ視察シ且
ツ字堀附近ニ派遣シタル收容隊ノ該地ニ到着セシヤ否ヤヲ視察ス
收容隊同地ニ着スルヲ見レバ直チニ副官參謀ヲ馳セテ左ノ命令ヲ各
部隊長ニ傳フ

(砲兵隊長へ)

- 一、砲兵ハ即時九島村北方ニ向ヒ背進スベシ
- 二、字堀附近ニ派遣シタル收容隊ハ諸隊ノ背進ヲ收容スル筈ナリ
- 三、余ハ九島村ニ至ル

中將某

(歩兵第一旅團長及ビ第三聯隊長へ)

一、諸隊ハ砲兵ノ陣地ヲ徹スルヲ待チ直チニ丸島村北方ニ向ヒ背進ス
ベシ

二、同前

三、同前

中將某

右ノ命令ヲ傳へ置キ師團長ハ幕僚ト共ニ先ヅ字堀ニ至リ諸隊退却ノ

狀ヲ視察シ退却部隊續々丸島村北方ニ集合スルニ至レバ副官ヲシテ
左ノ命令ヲ傳へシム

(第一旅團長へ)

一、師團ハ伊勢原附近ニ到着スル右縦隊ト合シ更ニ敵ヲ拒支スル目的
ヲ以テ愛名村附近ノ陣地ヲ占領セントス

二、歩兵第一旅團長少將某ハ歩兵砲兵ノ諸隊ヲ帥ヒ伊勢原ニ至ルベシ
三、伊勢原附近ニ到着セル右縦隊ハ同地附近ニ陣地ヲ占メ師團ノ退却
ヲ收容スル筈ナリ

四、余ハ伊勢原ニ至ル

中將某

(字堀收容隊長へ)

- 一、貴官ハ敵ヲ拒支シツ、伊勢原村ニ向ヒ退却スベシ
- 二、伊勢原附近ニ到着セル右縦隊ハ同地附近ニ於テ貴官ヲ收容スル筈ナリ
- 三、余ハ伊勢原ニ至ル

中將 某

右ノ如ク命令シ置キ師團長ハ伊勢原ニ急行シ第二旅團長ト面談シ互ニ意旨ヲ通ジ而シテ師團ノ諸隊伊勢原ニ退却シ來レバ必要ノ命令ヲ與ヘ行軍縦隊ヲ編成シ愛名村ニ退却セシメ又第二旅團長ニハ後衛トナリテ愛名村ニ退却スベキコトヲ命ジ師團長ハ愛名村ニ至ル

九月五日午
前八時頃ヨ
リ正午ニ至
ル情況
北金目方面

善波峠方面

● 九月五日午前八時頃ヨリ正午十二時ニ至ル情況

師團ガ前陳命令ノ如ク退却ノ途ニ就クヤ南金目附近ヨリ敵ハ猛烈ニ追撃ヲ施行シ北金目附近ノ我部隊ハ殆ンド散亂ノ狀ヲ以テ退却シ幸フシテ字堀附近ノ收容隊ニ掩護サレ丸島村北方ニ於テ初メテ稍々隊伍ヲ整頓シ續テ退却ヲ施行ス

善波峠方面ニ於テハ敵ノ攻撃猛烈ニシテ爲メニ増援隊トシテ派遣セラレタル第三聯隊第三大隊ノ到着ニ先チ既ニ漸次撃退セラレ善波村隘路口ニ於テ再ビ抵抗中第三聯隊第三大隊ハ長昌院北方高地ヨリ敵ノ側面ヲ脅威シ愛ニ敵ヲ一時躊躇セシメツ、アル際伊勢原ヨリ前進セル増加隊坪ノ内村西方ニ到着シ大ニ我部隊ハ形勢ヲ一變シ敵ヲ隘

大畑方面

路口ニ壓迫シタリシガ北金目方面ノ追撃隊漸次前進セシ爲メ遂ニ側背ヲ脅威セララル、ニ至リ伊勢原ニ向ヒ退却ス
大畑村方向ニ於テハ北金目ヨリ退却スル我部隊ヲ追撃セントスル敵ニ對シ砲火ヲ以テ之レヲ妨害シタリシガ敵兵飯島村ヨリ矢崎村方向ニ迫マルニ及ビ收容隊ヲ馬渡村附近ニ備ヘ東大竹村方向ニ退却ス同地ニハ伊勢原ヨリ前進セル一部隊ノ援助ヲ受ケテ安全ニ伊勢原附近ニ退却集合スルヲ得タリ

伊勢原方面

伊勢原附近ニ到着セル右縦隊ハ前陳ノ如ク各一部ヲ坪ノ内村及ビ東大竹村附近ニ派遣シ主力ハ伊勢原ノ高地ヲ占領シ各方面ヨリ退却シ來ル部隊ヲ收容セリ
敵ハ三方面ヨリ急追セシガ右縦隊ガ伊勢原附近ニ陣地ヲ占領セル爲メ神戸村ヨリ丸島村、西海地村北方ニ亘ル線ニ停止シ之レヨリ砲火ヲ

九月五日午後ニ於ケル
情況

戦闘前哨

以テ互ニ相應答スルノミニシテ敢テ急迫セズ
師團ハ右縦隊ノ援護ニ由テ無事伊勢原北方附近ニ集合シ行軍縦隊ヲ編成シ右縦隊ヲ更ニ後衛トシテ退却スルヲ得タリ
師團ハ愛名村附近ヨリ舟子村西北方ニ亘ル線ニ於テ持久防禦ヲナサ
ン爲メ堅固ニ陣地ヲ占領シ敵ヲ待ツ

●九月五日午後ニ於ケル情況

敵ハ午後三時頃ヨリ漸次岡津古久北方ヨリ愛甲村ニ亘ル線ニ展開シ
彼我ノ間ニ戰闘ハ起レリ然レトモ其交戦柔軟ニシテ遂ニ日暮ニ至リ
已ムヲ得ズ戰闘ハ自然ニ中止ノ姿トナレリ
即ハチ師團ハ本夜戰闘展開ノ儘、夜ヲ徹セザルベカラズ所謂戰闘前哨
ヲ用ユル場合ナリ

戦後ハ絡
養ハ携
携帯糧秣使
用ノ場合

抑モ前哨線ヲ防禦線ノ前方ニ出シテ配布スルト云フハ一般普通ノ場
合ニシテ目下ノ場合ニ於テハ特別ニシテ之レヲ適用シ能ハズ又小哨
前哨中隊ヲ整正區別シテ配布スルモノモ亦タ此時機ニ適當セズ即ハ
チ此場合ハ各所ニ於テ戦闘シタル部隊ガ其場所ノ近傍ニ於テ戦闘隊
形ノ儘小隊若クハ中隊毎ニ多少整頓シ其前方近ク數十歩ノ處ニ歩哨
ヲ配布シ各兵ハ皆銃ヲ手ニシ嚴重ニ警戒ス
今夜ノ給養ハ携帯糧秣ヲ用ユベキナリ何トナレバ敵前近ク各隊ハ展
開シテ相ヒ對シ且ツ時刻ハ既ニ日没ナリ大行李ハ遠ク隔離シアリ即
ハチ之レガ到着ヲ待チ後方ニ於テ炊爨シ糧食ヲ各戦闘線ニ分配スル
如キコトヲ爲ス能ハズ且ツ本日ハ早朝ヨリノ戦闘ノ爲メ兵隊ハ疲勞
シ一刻モ早ク兵ヲ給養スルノ必要アリ所謂各兵ハ右ニ各自ノ携帯糧
秣ヲ握ギリ左ニ銃ヲ扼シ敵ヲ睨ラシメテ糧ヲ凌グノ場合ナリ

戦中ハ
戦闘中止ハ
命令

又夜間敵目ヲ遮蔽シテ多少部隊ノ混淆ヲ恢復シ配備ノ連繫ヲ修正ス
ルノ必要アリ

是等ノ爲メ師團長ハ取り敢ズ急務ヲ要スル給養ノ件並ニ部隊ノ整頓
等ヲ命ジ置キ且ツ後刻命令受領者ヲ出スベキコトヲ命ジ此間ニ宿營
ニ關スル萬般ノ考案ヲナシ命令受領者ノ集ル頃ニハ我運動モ全ク敵
ニ見エザル如ク天暮ル、ナラン此ニ於テ宿營命令ヲ下シ各隊ノ連繫
ヲ恢復シ配備ヲ修正シ宿營ニ就カシム
乃ハチ師團長ハ午後五時三十分左ノ命令ヲ副官及ヒ傳騎ヲシテ各隊
ニ傳達セシム但シ副官ハ口達ヲ以テシ傳騎ニハ筆記シテ傳達セシム

第一師團命令

九月五日午後五時三十分
愛名村東方高地ニ於テ

- 一、師團ハ戦闘ヲ中止ス
- 二、各隊ハ其位置ニ於テ隊伍ヲ整頓スベシ

三、携帶糧秣ヲ用ユベシ
 四、隊伍ノ整頓終レバ一名ノ將校ヲ愛名村東方高地ニ送レ
 余ハ同地ニ在リ

師團長署名

午後六時過ギニハ各隊ノ命令受領者ハ師團長ノ許ニ集リ來ラン此ニ於テ師團長ハ宿營命令ヲ下シ各隊ノ占領區防禦工事并ニ警戒ニ關スル件、彈藥補充ノ件等ヲ精細命令ス

問 師團長ハ明日ノ作戰ニ關シテハ何如ナル考ヘテ要スルヤ

答 師團長ハ明日飽クマデ前面ノ敵ト持久戰ヲナシ

持久戰ノ要領

第二篇 決戰及ビ持續戰ノ條 參照

軍ノ進出ヲ待タントス

師團ノ前面ニ於ケル敵ハ優勢ナル如シ明日ハ決戰ヲ挑ムヤモ知レズ然レドモ凡ソ持久戰ノ要領ハ敵ヲ抑止シ時間ノ猶豫ヲ得ルヲ目的トシ敵ヲ殲滅セントスル決戰ノ働作ハ望ム所ニアラズ然ルニ敵ハ我が持久戰ヲナサントスルヲ知ラバ斷然眞面目ノ決戰ヲ挑ムハ常ナリ此時ニ當リテハ地形ノ利ニ由リ歩々防戰シ之レヲ避ケザルベカラズ時トシテハ屢々寡兵ヲ以テ突擊ヲナシ總攻撃ノ威響ヲ與ヘ攻勢ヲ以テ眞面目ノ決戰ヲ爲ス如ク陽動ヲナシ敵ヲ欺騙スルコトアレドモ此動作ハ敵兵神速ニ應戰スルトキハ勢ヒ自然ニ決戰ニ至ルノ己ムヲ得ザルニ至ルコト屢々ナリ然ルトキハ斷然決意シテ猛烈ノ眞攻撃ヲナスベシ此場合ニ於テ若シ之レヲ避ケント欲シ遲疑スルコトアルトキハ全滅ニ歸スルモノナリ

乃ハチ師團ハ明日飽クマデ敵ニ抗抵シ已ムヲ得ザルニ至ラバ歩々ノ防戦ヲ以テ敵ヲ北方ニ誘致シツ、持久戦ヲナサン爲メ之レニ關スル諸計、畫ヲ考究スルヲ要ス

情 況

第一師團ハ軍ノ到着ヲ待ツ爲メ九月五日夜愛名村ヨリ舟子村西北方ニ亘リ殊ニ堅固ナル防禦工事ヲ施シ敵ヲ待ツ
九月六日前面ノ敵ハ若干ノ戦闘ヲ挑ミシノミニテ更ニ決戦攻撃ヲナサズ此日正午頃ヨリ我第一軍ハ續々國分、用田、藤澤ノ線ニ進出シ敵ノ後續部隊モ亦タ漸次伊勢原附近ヨリ大磯附近ニ亘ル線上ニ到着集合シアルモノ、如シ而シテ戸田ヨリ下流馬入附近ニ至ル間、馬入川ノ西

岸ニハ互ニ彼我ノ監視歩騎兵アリテ相對向ス

右ノ情況ヨリ以後ハ軍ノ作戦ニ屬スルヲ以テ
此作戦ハ他日篇ヲ更ヘテ述ブル所アルベシ

師團ノ攻撃動作ハ本篇作戰中ニ於テ一通リ説示シ置キタレモ尙ホ了解ニ易カラシメン爲メ普通ノ情况ニ於ケル師團攻撃指揮ノ要領ヲ摘要シテ左ニ示シ置カントス

● 攻撃ヲ爲ス師團戦闘指揮ノ例

師團ハ左ノ軍隊區分ヲ以テ敵ニ向ヒ行進シアルモノト假定ス

軍隊區分

前衛

司令官少將某(第一旅團長)

歩兵第一聯隊

騎兵第一聯隊(一中隊缺ク)

砲兵第一大隊

攻撃ヲ爲ス
師團戦闘指揮ノ例

工兵第一中隊

衛生隊二分ノ一

左側衛

司令官歩兵少佐某

歩兵第三聯隊第一大隊

騎兵第一中隊(一小隊缺ク)

工兵第二中隊ノ一小隊

本隊(同ク行軍序列)

騎兵一小隊

歩兵第二聯隊

砲兵第一聯隊(第一大隊缺ク)

歩兵第二旅團(一大隊缺ク)

工兵第一大隊一中隊ト一小隊缺ク)

衛生隊(二分一)

(輜重梯隊區分ハ畧ス)

前衛司令官ヨリ報告ヲナシテ曰ク

敵ハA點ヨリB點ニ亘リ陣地ヲ占領セル者ノ如シ

前衛ハC點附近ニ停止シ目下敵狀搜索中ナリ

同時左側衛司令官ヨリ報告ヲナシテ曰ク

敵ハB點ヲ占領セリ多分敵ノ右翼ナラン

左側衛ハD點附近ニ前進シ尙ホ敵狀ヲ搜索セントス

師團長ハ第二旅團長ニ本隊ヲ引率シEノ地附近ニ(師團長ガ圖上ニテ
大畧判定セル開進地)前進スルコトヲ命シ而シテ師團長ハ幕僚、砲工兵
隊長(砲工兵隊長ハ兼テ師團長ニ隨行シアルモノトス)及ヒ傳騎ヲ從ヘ
前衛ノ處ニ急行ス

師團長前衛ノ處ニ至レハ親シク前衛司令官ヨリ前面ノ敵狀ヲ聽取シ
且ツ自ラ目撃シ戰鬥ノ方策ヲ定ム之レカ爲メ先ツ左ノ命令ヲ下ス

前衛司令官ニ口達

師團ハE地ノ北方ニ開進ス

前衛ハ某點ヨリ某點ニ亘ル線ヲ占領シ師團ノ開進ヲ掩護シ殊
ニ某點方向ヲ搜索スヘシ

一名ノ參謀ヲ左側衛ノ處ニ遣ハシ其情況ヲ見聞セシメ且ツ左ノ
要旨ノ命令ヲ口達セシム

師團ハE地ノ北方ニ開進ス

前衛ハ某點ヨリ某點ニ亘ル線ヲ占領スル筈ナリ

左側衛ハD點ノ東北方森林ヲ占領シ師團ノ開進ヲ掩護スヘシ

第二旅團長ニハ傳騎ヲシテ左ノ筆記命令ヲ與フ

本隊ハE地北方ニ開進セシムヘシ

砲工兵隊長ニ左ノ命令ヲ口達ス

砲兵隊長ハ某點附近ニテ某々方向ヲ射撃シ得ヘキ砲兵陣地ノ

偵察ヲナスヘシ

工兵隊長ハ砲兵隊長ト協議シ砲兵進入路并ニ所要ノ工事ニ關

スル偵察ヲナスヘシ

師團長ハ右ノ如ク命令ヲ下シ置キ自ラハ展望自在ノ地ニ於テ尙ホ敵

狀ヲ觀察シ左側衛方面ニ派遣セラレタル參謀モ亦同方面ノ情況ヲ視

察シアリ

此間前衛及ヒ左側衛ハ所命ノ如ク陣地ヲ占領シテ師團開進ノ掩護ニ
任ス同時ニ敵狀偵察ニ努力ス第二旅團長ハ本隊ヲ帥ヒ所命ノ點ニ向
ヒ開進シツ、アリ

前衛及ヒ左側衛ヨリノ報告ハ頻繁ニ師團長ノ許ニ到着ス

砲工兵隊長ハ師團長ニ偵察ノ結果ヲ報告ス

敵ノ砲兵ハ我前衛砲兵ト砲戰ヲ開キ兩翼ニ於テハ彼我ノ斥候或ハ一

小部隊衝突シ所々ニ銃聲アリ前衛騎兵ハ我歩兵ノ掩助ニ由テ敵ノ騎

兵ヲ驅逐シツ、敵翼ヲ頻リニ搜索シツ、アリ

右ノ如キ情況ニテ師團長ハ攻撃計畫ヲ爲スノ材料畧ホ得ラレタルヲ

以テ參謀長ニ意見ヲ示シ命令ヲ起草セシム同時ニ軍醫部長ニ衛生上

ノ意見ヲ諮問シ繙帶所ノ位置并ニ野戰病院招致并ニ其開設ニ關スル

コトヲ規定ス

參謀長命令ヲ記草シアル間ニ傳騎ヲシテ左ノ諸官ヲ師團長ノ許ニ招致セシム

步兵第二旅團長 步兵第二聯隊長 衛生隊長

(砲工兵隊長ハ既ニ師團長ノ許ニアル筈ナリ若シ師團長ノ許ヲ離レアレハ之レモ招致セシム)

程ナクシテ右ノ諸官ハ集リ來ル此ニ於テ師團長ハ左ノ要旨ニ基ク攻撃命令ヲ下ス

步兵第二旅團長ハA點ニ向ヒ攻撃スヘキコト

前衛ハ正面ヨリ敵ヲ牽制スルコト

砲兵ハF點附近ニ陣地ヲ占メ攻撃ヲ援助スヘキコト

騎兵ハ一部ヲ以テ師團ノ左側ニ主力ハ右側ニ在ツテ警戒ニ任ス

ルコト

步兵第二聯隊ハG點附近ニ在ツテ師團ノ豫備タルコト

工兵ハ豫備隊前進ノ軍路ヲ修理スヘキコト

綑帶所及ビ野戰病院開設地點、彈藥縱列ノ一部招致ノ點

師團長ノ位置

次キニ大行李及ヒ輜重第一梯隊ニ傳騎ヲ馳セ大行李停止ノ地點輜重ノ停止スヘキ地點並ニ彈藥縱列ノ一部及ヒ野戰病院ノ進ムヘキ地點ヲ命ス

監督部長ニハ傷者運搬用材料ノ徵發ヲ命ス

此クノ如クシテ諸隊ハ命令ノ如ク各其任務ヲ履行シ前衛ノ正面ハ戰鬪漸次激烈トナリ第二旅團長ハ逐次A點ニ向ヒ兵力ヲ展開シ砲戰ハ尤モ劇烈トナル

敵ノ砲兵已ニ動亂セシトキ師團長ハ砲兵聯隊長ニ左ノ命令ヲ與フ

砲兵ハ今ヨリ某突入點ニ射撃ヲ集注スヘシ

予ハ豫備隊ト共ニ第二旅團長ニ續行ス

右ノ命令ヲ與ヘタル後師團長ハ總豫備隊ヲ帥ヒ第二旅團長ノ攻撃方面ニ赴キ總豫備隊ヲ漸次突入點ニ向ツテ近接セシム

攻撃歩兵進ンテ敵ヲ距ルコト五六百米ノ處ニ至ルヤ敵ハ大ニ戦線ヲ増加シ爰ニ激烈ナル歩兵火戦ヲナス

師團長ハ傳令將校ヲシテ總豫備隊ニ左ノ命令ヲ傳ヘシム

聯隊ハ直チニ一大隊ヲ第二旅團ノ右翼ニ送り第二旅團長ノ指揮ニ屬セシムヘシ

又第二旅團長ニ左ノ命令ヲ傳ヘシム

貴官ノ右翼戦線ヲ増加スル爲メ只今第二聯隊ノ一大隊ヲ送レリ

此大隊ハ自今貴官ノ指揮ニ屬ス

次キニ騎兵聯隊長ニ左ノ命令ヲ傳ヘシム

騎兵聯隊長ハ決勝攻撃ノ際要スレハ戦鬪ニ參與スル爲メ師團兩側面ノ警戒ニ必要ナル監視騎兵ヲ除ク外主力ヲ以テ其高地ノ後方附近ニ位置スヘシ

戦況ハ漸次激烈トナリ第二旅團ノ攻撃歩兵ハ既ニ敵ヲ距ル二百米ノ地ニ在ツテ殆ント全力ヲ展開シ敵ノ戦線ハ稍動搖スルノ状ヲ現ハス師團長ハ此ニ於テ侵襲ノ喇叭ヲ吹奏セシム

總豫備隊ハ第二旅團ノ後方二百米ニ跟随シ第二旅團ハ襲歩ニ移ル此際ニ於テ敵ノ騎兵第二旅團ノ右翼ニ向ツテ將サニ襲撃セントスルノ状アルヤ我騎兵聯隊ハ時機ヲ失セス之レヲ襲撃シ敵騎ハ退却ス此クノ如クシテ遂ニ師團ノ攻撃功ヲ奏スルヤ師團長ハ左ノ命令ヲ下

ス但シ此命令ノ一部ハ參謀官豫メ準備シアルモノナリ

●騎兵聯隊長ニ與フル命令

聯隊ハ敵ノ左側面ニ向ツテ追撃シ敵ニ先チテ某河ノ渡場ニ達シ該所ノ橋梁殊ニ鐵道橋ヲ破壊シ電線ヲ切斷センコトヲ勉ムヘシ

騎兵第一中隊左翼ニ在リシ者ハ後刻貴官ノ指揮ニ屬セシム

騎兵一小隊ヲ本道上ヨリ追撃スル步兵第二聯隊長ノ指揮ニ屬スル

爲メ直チニ某地ニ向ヒ派遣スヘシ

敵ノ正面ニハ先ツ第二聯隊長ノ帥ユル追撃隊ヲ進メ師團ハ某街道

ヲ前進スル筈ナリ

●第二聯隊長ニ與フル命令

貴官ハ第三大隊ヲ帥ヒ直ニ某街道ヲ經テ追撃スヘシ砲兵第一大隊及ヒ騎兵一小隊ハ後刻途中ニ於テ貴官ノ指揮ニ屬セシム

騎兵聯隊ハ敵ノ左側面ニ向ツテ追撃セシメタリ

師團ハ某街道ヲ前進ス

●砲兵聯隊ニ與フル命令

某地ヲ經テ大街道上ヲ追撃スル所ノ步兵第二聯隊長ノ指揮ニ屬スル爲メ速ニ砲兵一大隊ヲ送ルヘシ此大隊ハ某地ニ於テ追撃隊ノ來ルヲ待ツヘシ

自餘ノ大隊ハ某地ニ於テ前進ノ準備ヲナスヘシ

兩旅團長ニ左ノ筆記命令ヲ與フ但シ此ノ旅團ハ命令ヲ受クルニ至ル

マテ其畧奪シタル陣地ヨリ射撃ヲ以テ敵ヲ追撃シ且ツ兵隊ノ團結ヲ

回復ス

兩旅團ハ前進ノ準備ヲ爲スヘシ但シ第一旅團ハ大街道上ニ第二旅

團ハ某路上ニ於テスヘシ

●左翼ニアリシ騎兵第一中隊長ニ與フル命令
中隊ハ直チニ某地方向ニ進ミ聯隊ニ復歸スヘシ
聯隊ハ敵ノ左側ニ向ツテ追撃スル筈ナリ

●工兵中隊長ニ左ノ命令ヲ與フ
中隊ハ直チニ師團架橋縦列ト共ニ大街道上ヲ進ミ第一旅團ニ屬ス
ヘシ

●大行李長ニ左ノ命令ヲ與フ
師團ハ敵ヲ撃退シ某路ヲ前進ス
大行李ハ某街道上ヲ行進スヘシ

●輜重梯隊ニ左ノ命令ヲ與フ
師團ハ敵ヲ撃退シ某路ヲ前進ス
輜重ハ大街道ノ某地ニ進ミ其先頭ヲ某地ニ置キ後命ヲ待ツヘシ

以上ノ如ク處置ヲナシ師團ハ更ラニ行軍縦隊ヲ整ヘ前進ヲ起ス

基本戰術摘要解義第二卷終

明治三十三年六月十八日印刷
同 年六月二十三日發行

訂正基本戰術摘要解義與附
(正價壹冊金五拾錢)

著者 雲外居士

發行兼印刷者 東京市京橋區五郎兵衛町二十一番地
小林又七

同 陸軍省御構内

印刷所 小林又七出張所

同 麴町區隼町二十一番地

發賣所 小林又七支店

(電話番町一九二)

仙臺市南光院町四番地

同 小林又七出張店



著作權所有

85

55

75

